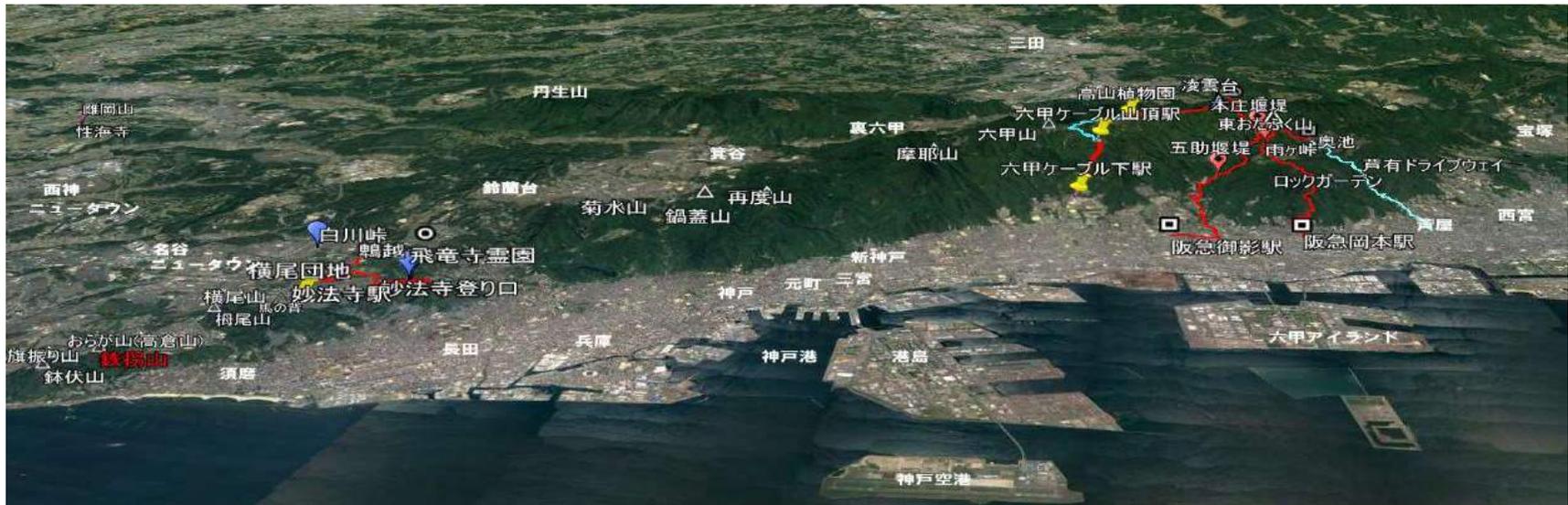


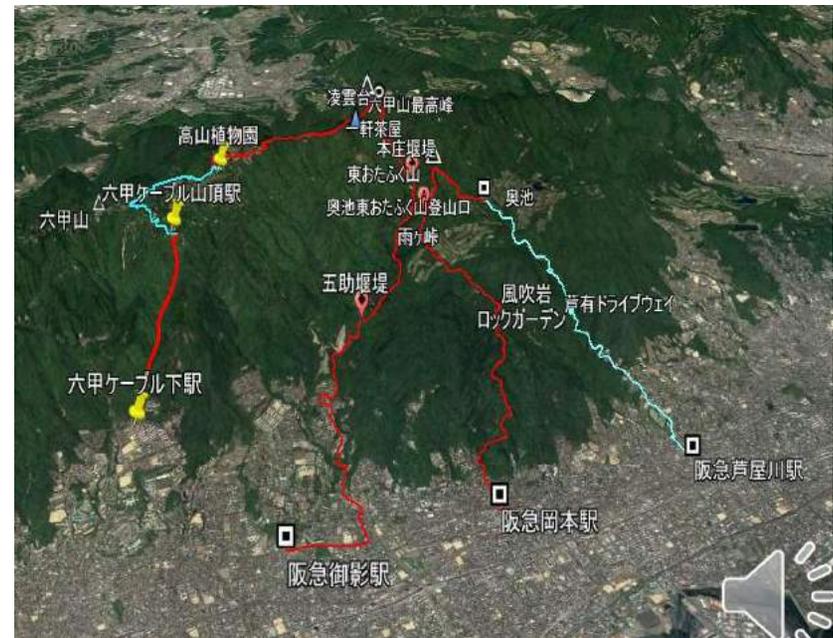
# 2018 6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く



1. 六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018.6.14.
2. 岡本 保久良神社から尾根筋を風吹岩・ 雨ヶ峠を経て東おたふく山へ 2018.6.22.

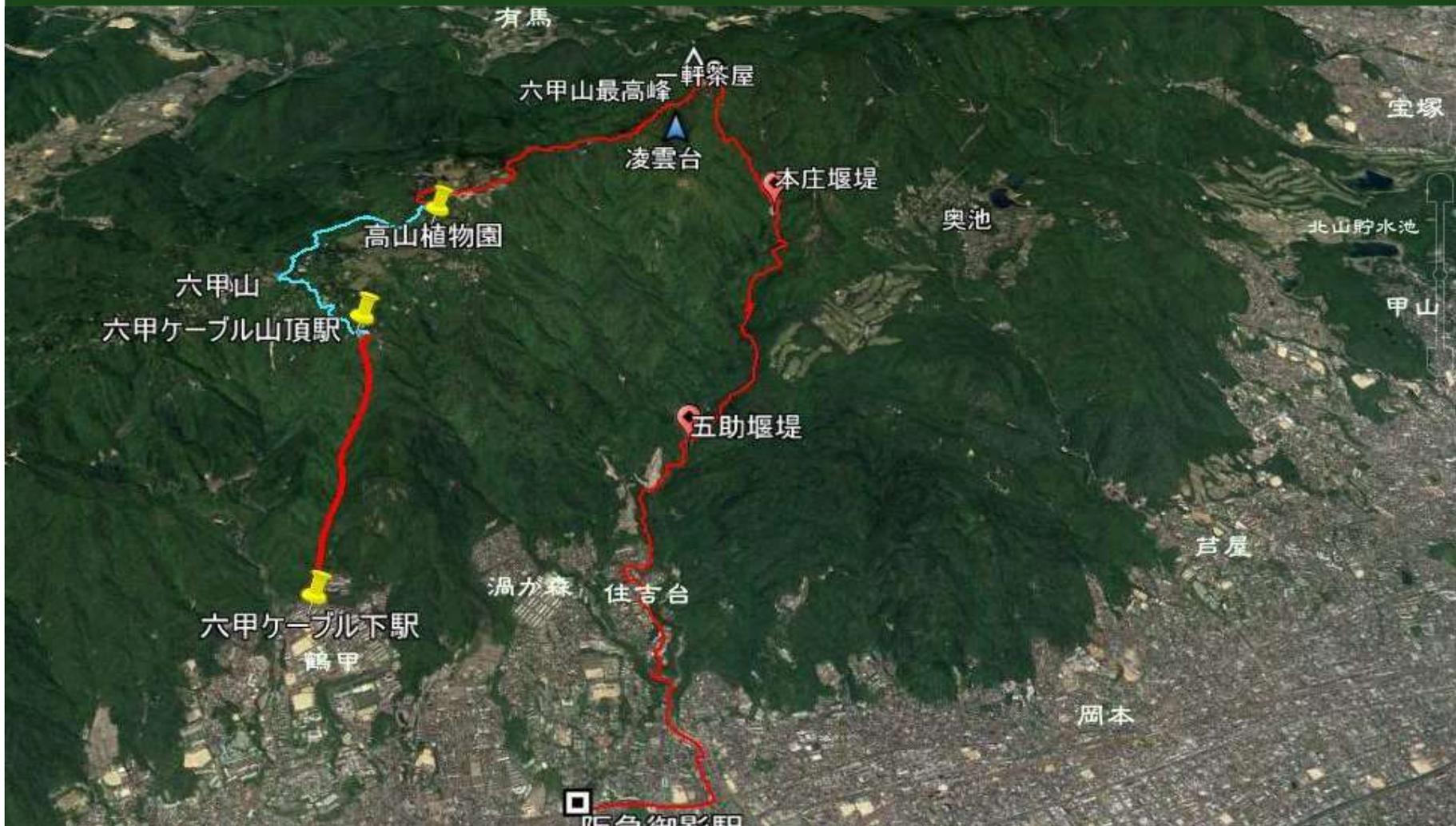
梅雨の晴れ間 久しぶりに六甲山上 Walk  
東六甲の六甲高山植物園・六甲山最高峰へ  
長いこと歩いていない東六甲の住吉谷を下りました。  
また 別途 以前から気になっていた六甲越の古道・  
東おたふく山への道を辿りました。

もう何十年も歩いていない住吉谷・おたふく山  
雨上がりで美しい新緑の中を種々初夏の野草にも出会  
え、うれしいwalkでした。

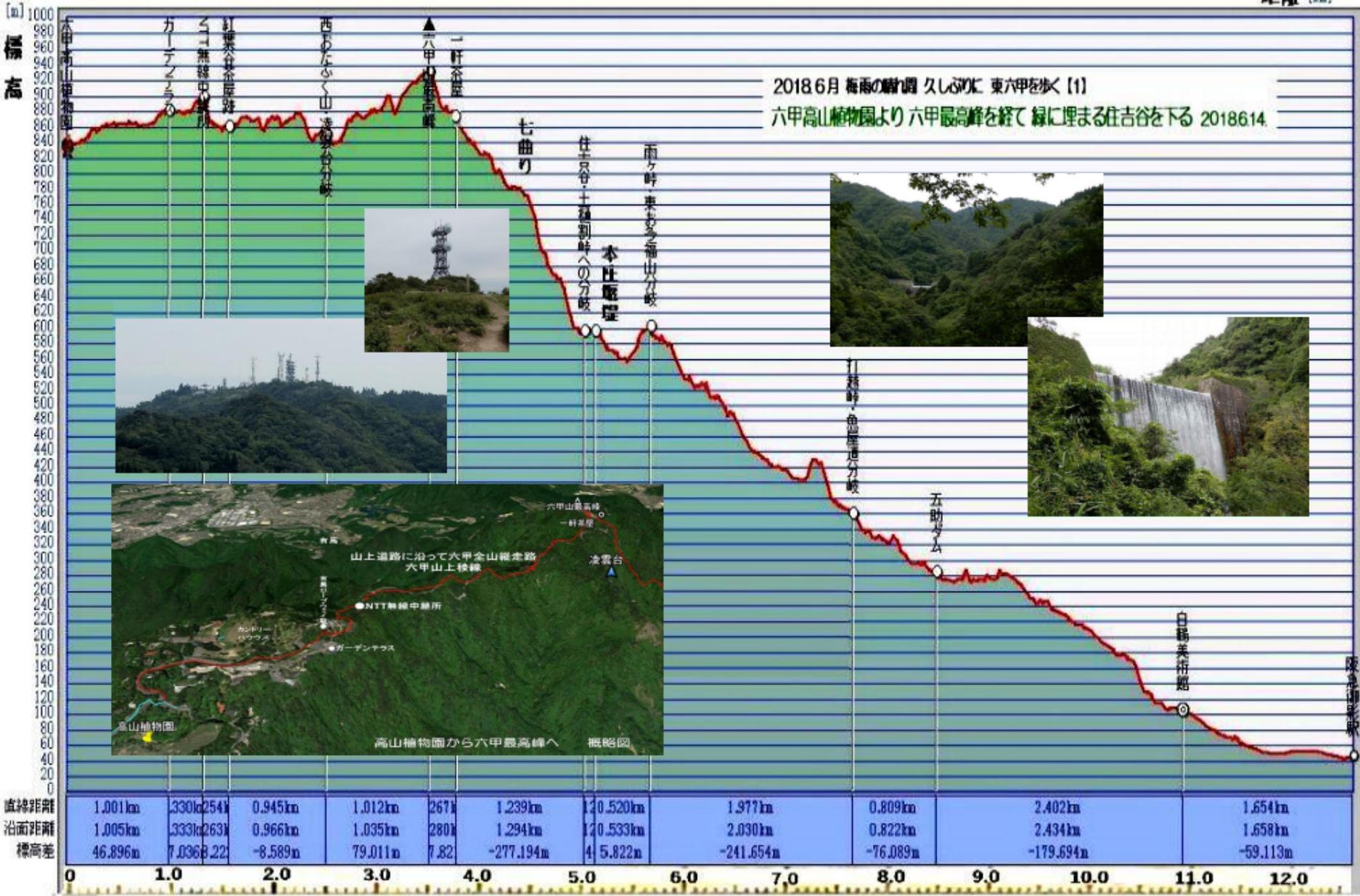


六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

1. ニッコウキスゲの咲く 六甲高山植物園
2. 六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る



2018 6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く【1】  
六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 緑に埋まる住吉谷を下る 2018.6.14.



直線距離	1.001km	330.254	0.945km	1.012km	267	1.239km	10.520km	1.977km	0.809km	2.402km	1.654km
沿面距離	1.005km	333.263	0.966km	1.035km	280	1.294km	10.533km	2.030km	0.822km	2.434km	1.658km
標高差	46.896m	7.036	-8.589m	79.011m	7.82	-277.194m	45.822m	-241.654m	-76.089m	-179.694m	-59.113m

私の一番好きな六甲 武庫川から眺める東六甲の姿  
小さな時から、私の慣れ親しんだ景色でもある



R171号線 武庫川 甲武橋から眺める六甲連山 google earthより

尼崎と西宮の境を流れる武庫川

この土手から眺める東六甲の姿は私にとっては小さい頃から朝夕慣れ親しんだ景色。

東端にこんもりと甲山がみえ、その後ろに東六甲の山々が連なる六甲が一番美しい景色。

電車に乗ると 毎度探す景色でもある。

須磨に移り住んで、西六甲に登る機会は増えましたが、東六甲に行く機会もなく、イメージだけが頭に残っている。

晴れ渡った梅雨の合間 西六甲鉄拐山iから東に延びる六甲連山とその一番後ろ遠くに隠れて、山裾だけが見える東六甲の山々を遠望する。

「本当に長いこと東六甲の六甲最高峰・住吉谷 それに山裾だけが見えているおた福山・甲山にも登っていないなあ。

今どないなっているのだろうか……」と好奇の虫が騒ぐ。

かつて よくハイキングに出かけた場所ではあるが、住宅地として大きく変貌した阪神間六甲の山腹。色々話は聞くが……と興味深々。

この梅雨の晴れ間 電車に使えば1時間もかからず麓に行けるので、毎日の健康walkに東六甲へも足を延ばそう。

一番行きたいのは住吉川の谷筋とおたふく山そして最後は甲山と。

思い立ってすぐ車六甲へ



R171号線 武庫川 甲武橋から眺める六甲連山 google earthより



西六甲 高取山から眺める六甲連山の山並み



西六甲の端 鉄拐山から眺める六甲連山の山並み

六甲連山の西端 須磨 鉄拐山から眺める六甲連山  
東六甲の山々の向こうに見える東六甲 今はどうなっているのだら  
うか？



西六甲 高取山から眺める六甲連山の山並み



西六甲の端 鉄拐山から眺める六甲連山の山並み







西六甲 高取山から眺める六甲連山の山並み  
摩耶山の大きな山体の後ろに六甲山の山上部が重なって、東六甲の山並みがよく見えない



西六甲 高取山から眺める六甲連山の山並み遠望

摩耶山の大きな山体の後ろに六甲山の山上部が重なり、六甲の山腹の高所まで広がる住宅地区の東街地、鶴甲、沢が森の団地がかすんで見える



梅雨の晴れ間 初夏  
ニッコウキスゲの花咲く高山植物園  
2018.6.14.



六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

# 1. ニッコウキスゲの咲く 六甲高山植物園





2018.6.14.朝 六甲ケーブルで山上に上がって山上walk  
六甲最高峰から住吉谷を下ることに。久しぶりの東六甲 楽しみです



2018.6.14.朝 六甲ケーブルで山上に上がる

## 1.1. ニッコウキスゲの咲く 六甲高山植物園

# 六甲高山植物園2018 初夏6月の草花

梅雨の晴れ間 2018.6.14.



6月の上旬 青いケシやクリンソウなどに合わせ、毎年六甲高山植物園に咲く高山植物を見に出かけるのですが、今年はお出遅れ。ただでさえ温暖化が進む中 ニッコウキスゲが今満開と聞きましたが、いつも楽しみにしている駒草・エーデルワイス・オオヤマレンゲなどはまだ咲いているだろうか？ あまり期待はせずに…… お目当てはニッコウキスゲ でも コマクサやオオヤマレンゲには出会いたいと興味深々。  
六甲高山植物園東門より入る。



まるごと六甲山を楽しもう   
**Rokkosan.com**

# 六甲高山植物園

ALPINE BOTANICAL GARDEN MAP

## 園内マップ







2018. 6. 14. 六甲高山植物園

東門を入り、坂を下って高山植物園の中央へ

ふと見るとオオヤマレンゲの木に花が一輪 また、高山植物が育てられている築山の周りにも、多くの人たちが見え、その下に見える湿地にニッコウキスゲの花が見え、黄色い花が見える。 まず ニッコウキスゲを見に行こうと坂道を下ってゆく



2018. 6. 14. 六甲高山植物園 ニッコウキスゲの咲く 中央岩山下の湿地  
まだちょっと早かったようだが、久しぶりに見るニッコウキスゲ うれしく思わず笑顔に  
正面門の湿地にもニッコウキスゲが群生する湿地がりそっちがメイン。  
群生するこの黄色い花の湿地を見ると尾瀬ヶ原へ行きたくなる。  
また、土砂降りの雨の中でみた 東北八戸種差海岸のニッコウキスゲも印象的だった…



2018.6.14. 六甲高山植物園 ニッコウキスゲの咲く 中央岩山下の湿地



2018.6.14 六甲高山植物園 ニッコウキスゲ 中央岩山下の湿地で



山岳に咲く高山植物がみられる中央部のロックガーデン(岩山)

この時期 この岩山では楽しみなコマクサやエーデルワイスなど数々の高山植物がみられるのですが、訪れたのが少し遅かったのか もう盛りを過ぎていました。



山岳に咲く高山植物がみられる中央部のロックガーデン(岩山)



高山植物の女王 コマクサ 中央部のロックガーデン(岩山)で



高山植物の女王 コマクサ 中央部のロックガーデン(岩山)で



コマクサ 中央部のロックガーデン(岩山)で



エーデルワイス 中央部のロックガーデン(岩山)で



エーデルワイス 中央部のロックガーデン(岩山)で



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺にも数々の草花が咲いていました  
2018.6.14



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺 2018.6.14.



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺 2018.6.14.14.



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺 2018.6.14.14.



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺 2018.6.14.  
もう咲き終わっていると思っていたクリンソウがまだ残っていました



ロックガーデンの中央を流れる小川の周辺 2018.6.14.

A photograph of a wetland area in a botanical garden. The foreground is dominated by tall green grasses and numerous bright yellow flowers. A wooden walkway with posts runs along the right side of the field. In the background, there is a dense forest of green trees under a blue sky with light clouds. A small wooden sign is visible in the middle ground.

六甲高山植物園 南口の湿原で 2018.6.14

もう水芭蕉の花は咲き終わっていましたが、黄色いニッコウキスゲが咲き始めていました



ニッコウキスゲ

六甲高山植物園 南口の湿原で 2018.6.14



ニッコウキスゲ 六甲高山植物園 南口の湿原で 2018.6.14.



ニッコウキスゲ 六甲高山植物園 南口の湿原で 2018.6.14.



南口近くの池や丘の周辺では すがすがしい紫陽花の花 20108.6.14.



南口近くの池や丘の周辺では すがすがしい紫陽花の花 20108.6.14.



池では 黄色いコウホネの花 20108.6.14.



「オオヤマレンゲ」の咲く南の丘へ 2018.6.14. 六甲高山植物園で



新緑 「オオヤマレンゲ」の木の葉が素晴らしいトンネルの中に  
オオヤマレンゲの花が見える

六甲高山植物園 オオヤマレンゲの咲く南の丘 2018. 6. 14.

A close-up photograph of a white magnolia flower in bloom. The flower has several large, white, slightly ruffled petals. In the center, there is a cluster of dark red, pointed structures, likely the stamens or pistil. The flower is surrounded by large, vibrant green leaves with prominent veins. The background is filled with more green foliage, creating a dense, natural setting. The lighting is bright, highlighting the texture of the petals and leaves.

オオヤマレンゲ 六甲高山植物園 南の丘で 2018.6.14.

A close-up photograph of a white flower with a prominent red center, surrounded by green leaves. The flower is the central focus, with its petals appearing soft and slightly blurred. The red center is a cluster of stamens or a similar floral structure. The surrounding leaves are a vibrant green, with some showing signs of wear or small dark spots. The background is dark, making the flower and leaves stand out.

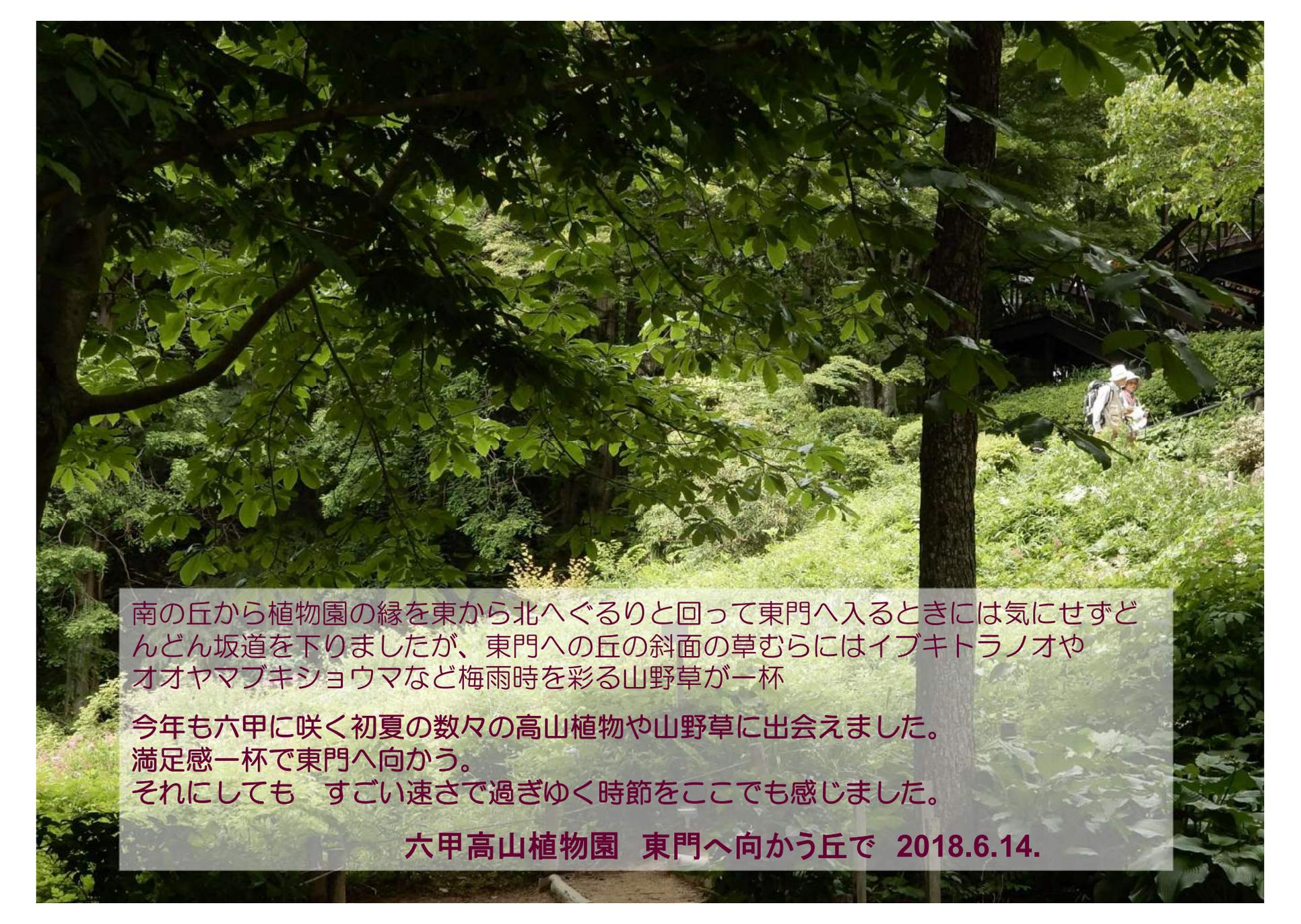
オオヤマレンゲ 六甲高山植物園 南の丘で 2018.6.14.



ヤマブキショウマ とイブキトラノオの草花に見送られて  
東門へ向かう丘の斜面で 六甲高山植物園 東門への丘で 2018.6.14.



初夏の花 2018  
六甲高山植物園 で 2018.6.14

A photograph of a lush green forest. In the foreground, there are large, vibrant green leaves of a tree, partially obscuring the view. In the background, a person wearing a white hat and a backpack is hiking up a grassy hillside. The scene is filled with dense greenery and sunlight filtering through the trees.

南の丘から植物園の縁を東から北へぐるりと回って東門へ入るときには気にせずどんどん坂道を下りましたが、東門への丘の斜面の草むらにはイブキトラノオやオオヤマブキショウマなど梅雨時を彩る山野草が一杯

今年も六甲に咲く初夏の数々の高山植物や山野草に出会えました。  
満足感一杯で東門へ向かう。  
それにしても すごい速さで過ぎゆく時節をここでも感じました。

六甲高山植物園 東門へ向かう丘で 2018.6.14.

引き続き 高山植物園の北門を出て、か東へ六甲最高峰へ久しぶりの山上散歩  
そして、久しぶりに新緑の住吉谷を下る

六甲山上 六甲全山縦走路を東へ 六甲山最高峰へ登って  
二軒茶屋から六甲越の古道を南へ 住吉谷を下る





梅雨の晴れ間 初夏

ニッコウキスゲの花咲く高山植物園

2018.6.14.

〈おしまい〉



まるごと六甲山を楽しもう

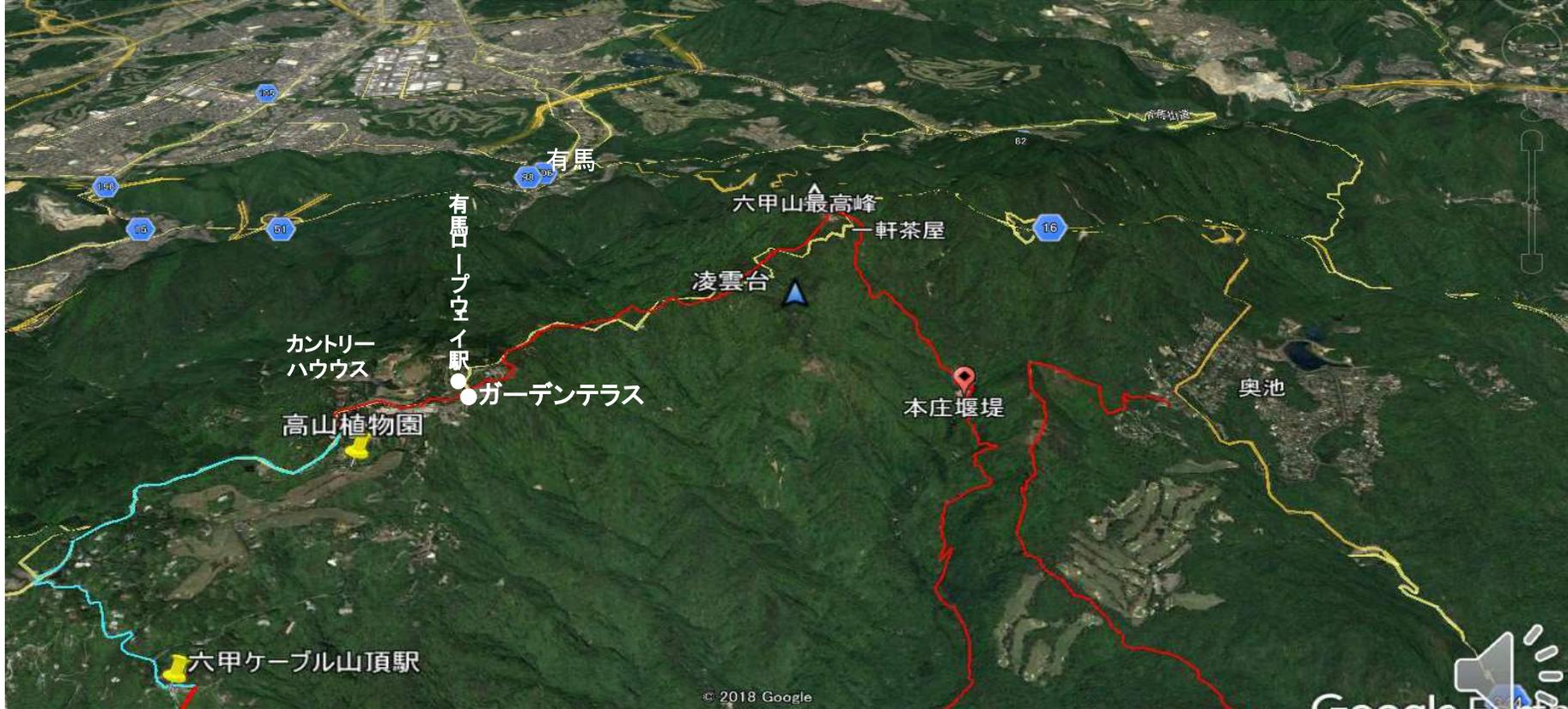


Rokkosan.com

## 2. 六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ 2018.6.14.

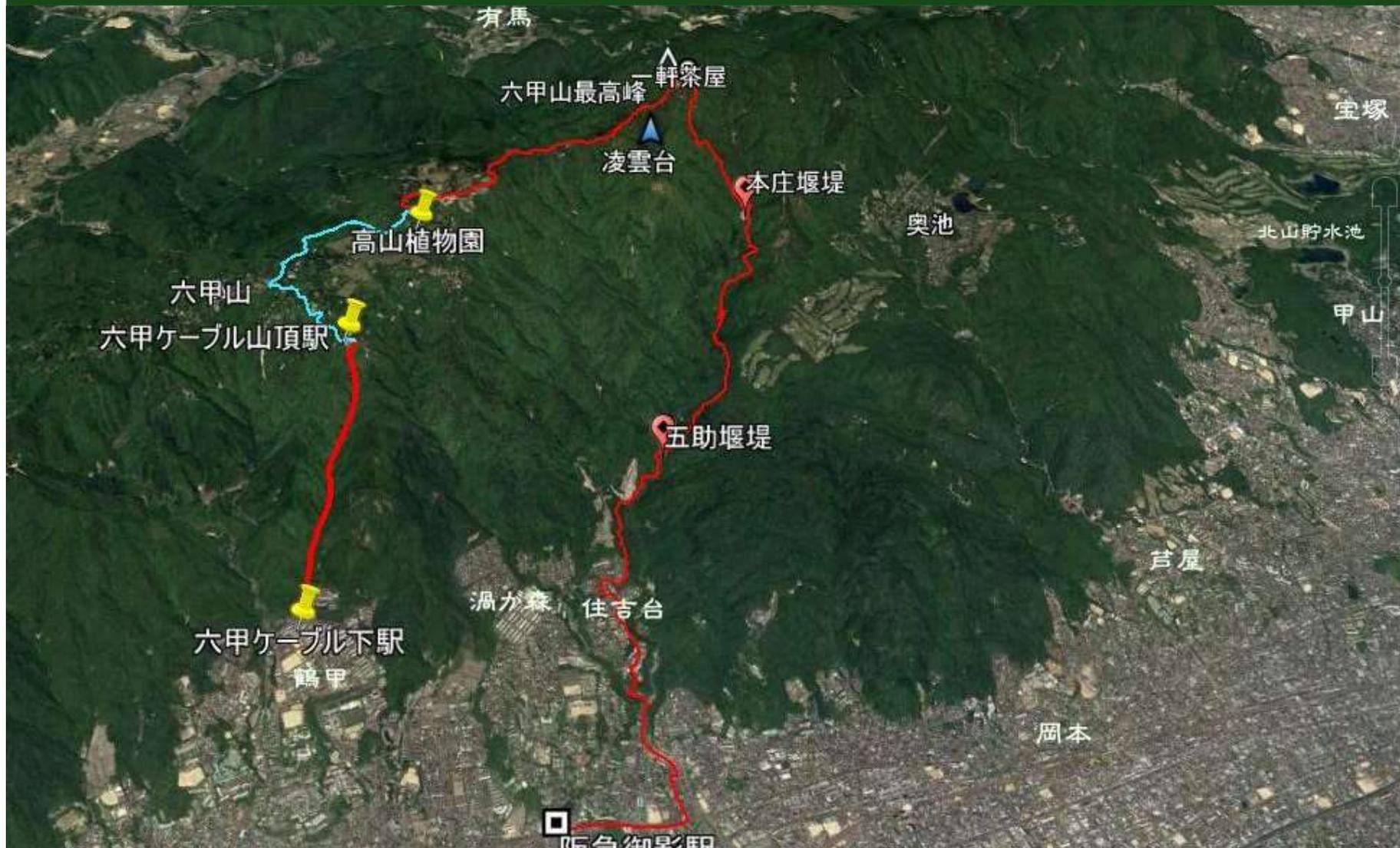
12:30

六甲高山植物園東門前から六甲山最高峰へ向かって 山上のドライブウェイを東へ山上walk  
六甲の全山縦走路が ほぼドライブウェイと何度か交差しながら、並行して東六甲へ伸びる。  
六甲高山植物園前からドライブウェイをカントリーハウス・ガーデンテラス前まで歩いて、  
底から、六甲全山縦走路に入る



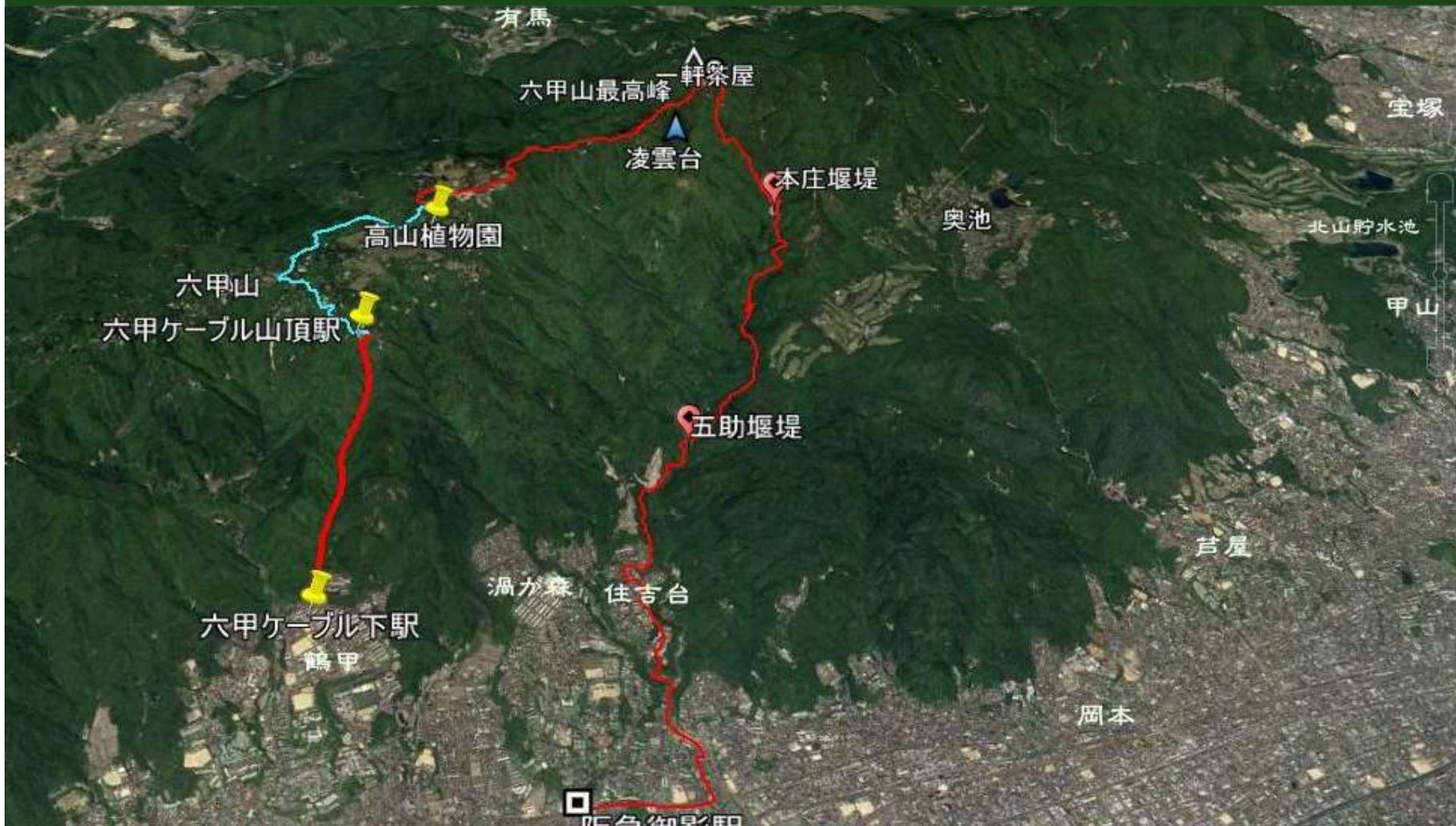
六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

## 2. 六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ



六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

1. ニッコウキスゲの咲く 六甲高山植物園
2. 六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る





西宮浜から眺める六甲連山 全景 internetより 自分のphotoに置換え予定



武庫川から眺める東六甲・甲山

故郷 尼崎から いつも眺めた六甲連山 東六甲の姿  
今 六甲山上からは どんな風に見えるのだろうか?



西六甲からは眺められぬ東六甲の景色を期待して、  
久しぶりに六甲山上を歩く



西六甲 高取山から眺める六甲連山の山並み遠望  
摩耶山の大きな山体の後ろに六甲山の山上部が重なり、  
六甲の山腹の高所まで広がる住宅地区の市街地、鶴甲、沼が森の団地がかすんで見える

高山植物園から東へ六甲最高峰へ久しぶりの山上散歩 そこから久しぶりに新緑の住吉谷を下る

六甲山上 六甲全山縦走路を東へ 六甲山最高峰へ登って  
二軒茶屋から六甲越の古道を南へ 住吉谷を下る



# 六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ 2018.6.14.



12:30 六甲高山植物園東門前から六甲山最高峰へ向かって東へ山上walk  
六甲の全山縦走路が ほぼドライブウェイと何度か交差しながら、並行して  
東六甲へ伸びる。六甲高山植物園前からドライブウェイをカントリーハウス・  
ガーデンテラス前まで歩いて、六甲全山縦走路に入る

六甲ケーブル山頂駅



六甲山最高峰  
一軒茶屋

有馬

山上道路に沿って六甲全山縦走路  
六甲山上稜線

凌雲台

有馬ロープウェイ駅

●NTT無線中継所

カントリー  
ハウス

●ガーデンテラス

高山植物園

高山植物園から六甲最高峰へ 概略図



12:30 六甲高山植物園東門前から六甲山最高峰へ向かって東へ山上walk  
山上道路を北六甲 ガーデンテラス地区へ



高山植物園から六校最高峰へ 概略図  
六甲山上 北六甲 ガーデンテラス周辺

Internet 画像 六甲山上 ガーデンテラス



# Internet 画像 六甲山上 ガーデンテラス





六甲ケーブル山頂駅

高山植物園

六甲ケーブル下駅

阪急御影駅

縦走路入口 ●

●NTT無線中継所

凌雲台

五助堰堤

住吉谷

本庄堰堤

ドライブウェイにほぼ並行して東西に延びる  
山上稜線を行く六甲全山縦走路

六甲山最高峰

茶屋

ガーデンテラスからドライブウェイを離れ、並行する縦走路に入り、六甲山最高峰へ  
2018.6.14. 12:45



ガーデンテラスから東へ伸びる全山縦走路入口 2018.6.14. 12:45

ガーデンテラスの東端から山上南側崖に沿って東へ縦走路が伸びている。  
山上のドライブウェイを歩かずとも縦走ができる全山縦走路が山上に  
きっちり整備されているのを初めて知りました。



ガーデンテラスから縦走路に入り、六甲山最高峰へ 2018.6.14. 12:45



奥池 さらに阪神間 海岸部まで広がる西宮・尼崎の市街が見えている  
2018.6.14. 六甲山上 ガーデンテラス東の六甲全山縦走路 NTT無線中継所電波塔周辺より



右への道は迷いやすく危険です





2018.6.14. 六甲山上 ガーデンテラス東 六甲全山縦走路 NTT電波塔周辺より



西おたふく山の尾根の向こうに奥池 さらに阪神間 西宮・尼崎の市街が見えている  
2018.6.14. 六甲山上 ガーデンテラス東 の六甲全山縦走路 電波塔周辺より



電波塔がそれぞれの頂上にある 左:六甲山最高峰 右:西おたふく山の頂上が見えている 2018.6.14.



ガーデンテラスのすぐ東の縦走路 南側展望が素晴らしい北六甲 NTT無線中継所周辺 2018.6.14.12:50



六甲山上稜線 緑の林の中 南側の展望が効く 全山縦走路を東の六甲最高峰へ  
2018.6.14.



山上Drive Way・県道16を北へ渡り 有馬へ下る有馬紅葉谷入口 13:03

Google Earth 画像



ドライブウェイを北へ渡り有馬へ下る有馬紅葉谷入口 13:03  
縦走路はドライブウェイの路肩を少し東へ歩いて、北へまた林の中へ



紅葉谷入口からドライブウェイ沿いに少し東へ歩くと、ドライブウェイとクロスして  
縦走路は階段道でさらに東へ 六甲山最高峰へと続く 2018.6.14.



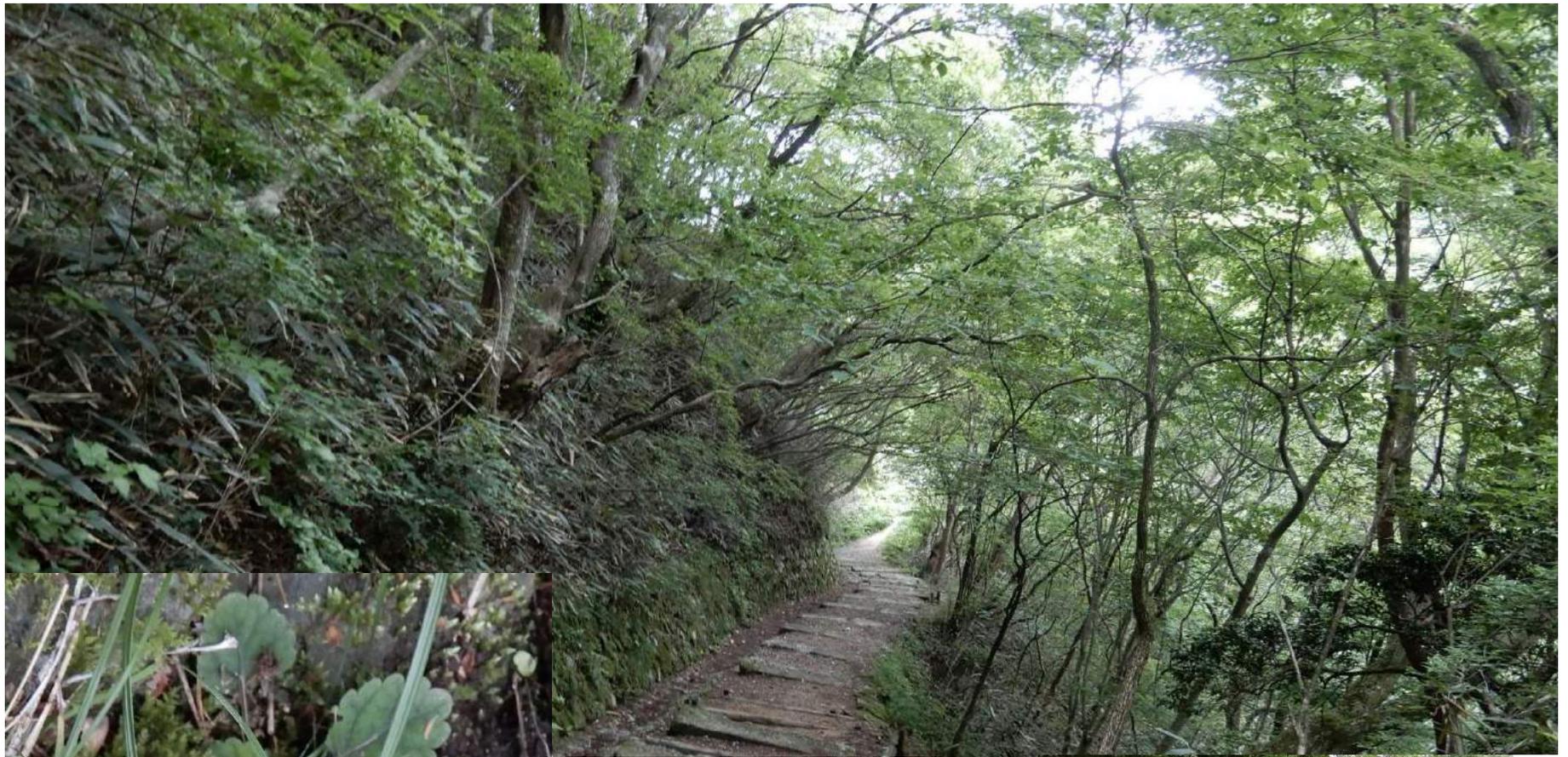
南側から北側へドライブウェイとクロスして縦走路は登りの階段道 さらに東へ 13:05



新緑に包まれた縦走路 緑のトンネルの山上Walk すこぶる心地よし



六甲全山縱走路 六甲山上 2018.6.14.



六甲全山縦走路 六甲山上 凌雲台・西おたふく山への分岐 2018.6.14.13:16



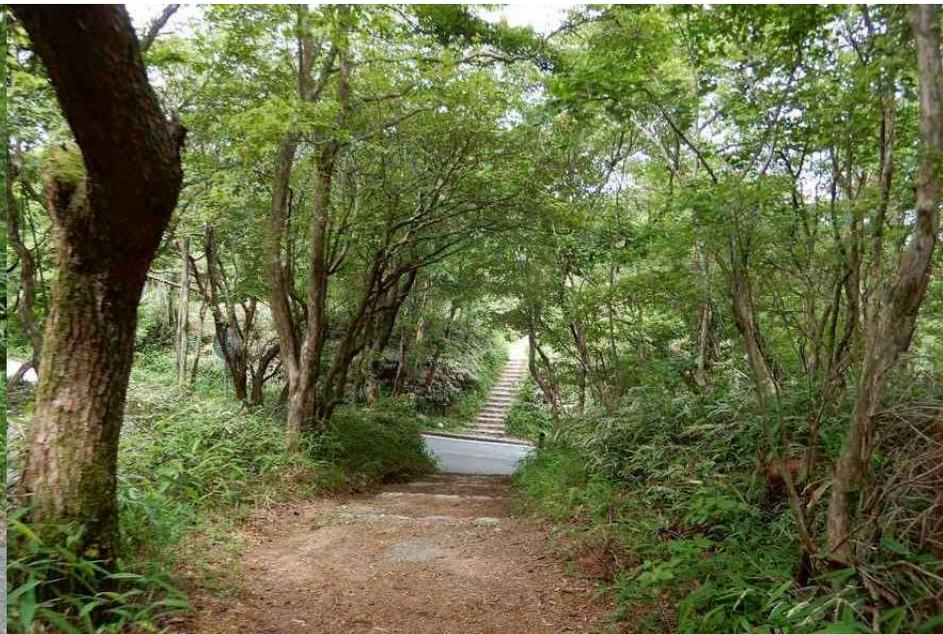
瀬戸内海国立公園六甲山地区  
六甲山自然歩道  
六甲山最高峰～凌雲台  
中員15M 延長25KM  
兵庫県 神戸市

西おたふく山の凌雲台にある電波塔が見えている

13:16



13:20



凌雲台・西おたふく山への分岐をクロスしてさらに東へ  
緑の林の中 六甲稜線の道 六甲全山縦走路 2018.6.14. 13:16



神戸市北区/東灘区の境界 2018.6.14. 13:29  
drive wayを再度クロスして 縦走路は稜線の北側へ 最高峰は近い



林の中 稜線を行く 樹木の間から最高峰頂上にある電波塔が見える 2018.6.14.



いよいよ 六甲最高峰への登りにとりつく

2018.6.14.

13:31



樹木の間から稜線北側の景色を垣間見ながら、少し林の中を登ると視界が開け、最高峰の広い山頂部の南端に飛び出すT字路【1】 2018.6.14. 13:35



樹木の間から稜線北側の景色を垣間見ながら、少し林の中を登ると視界が開け、最高峰の広い山頂部の南端に飛びだすT字路【2】 2018.6.14. 13:35

13:35

Dorive wayから登ってきた道を右 北側へ歩けば山頂 南には眼下に広がる大阪平野が遠望される  
いつから ここへ登って来ていないのだろうか



六甲山最高峰頂上へ 北への最後の緩やかな登山道 2018.6.14.



六甲山最高峰頂上 2018.6.14. 13:38

高山植物園から約1時間の山上walkn 遮るもののない360度の大展望

A photograph of a mountain peak. In the center, a tall metal radio tower stands on a small hill, equipped with several large, light-colored satellite dishes. The tower is surrounded by dense green vegetation. In the foreground, a dirt path leads towards the tower. A few people are visible sitting on a rock near the base of the tower. The sky is overcast and grey. The overall scene is a high-altitude mountain landscape.

山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める 2018.6.14.

# 六甲山山頂部のGoogle Earth 画像



至石の宝殿 宝塚 芦有  
drive way(有馬 芦屋)

一軒茶屋

電波塔

△  
六甲山最高峰

山上drive way  
県道16号

至六甲ケーブル・高山  
植物園ほか 六甲山上



六甲山最高峰から眺める南東側 阪神間の街中に故郷尼崎を探す

葛城山

生駒山

大和川

淀川

大阪

大阪空港

尼崎

尼崎港

武庫川

西宮

甲子園球場

宝塚

甲山

芦屋

六甲アイランド

凌雲台

奥池

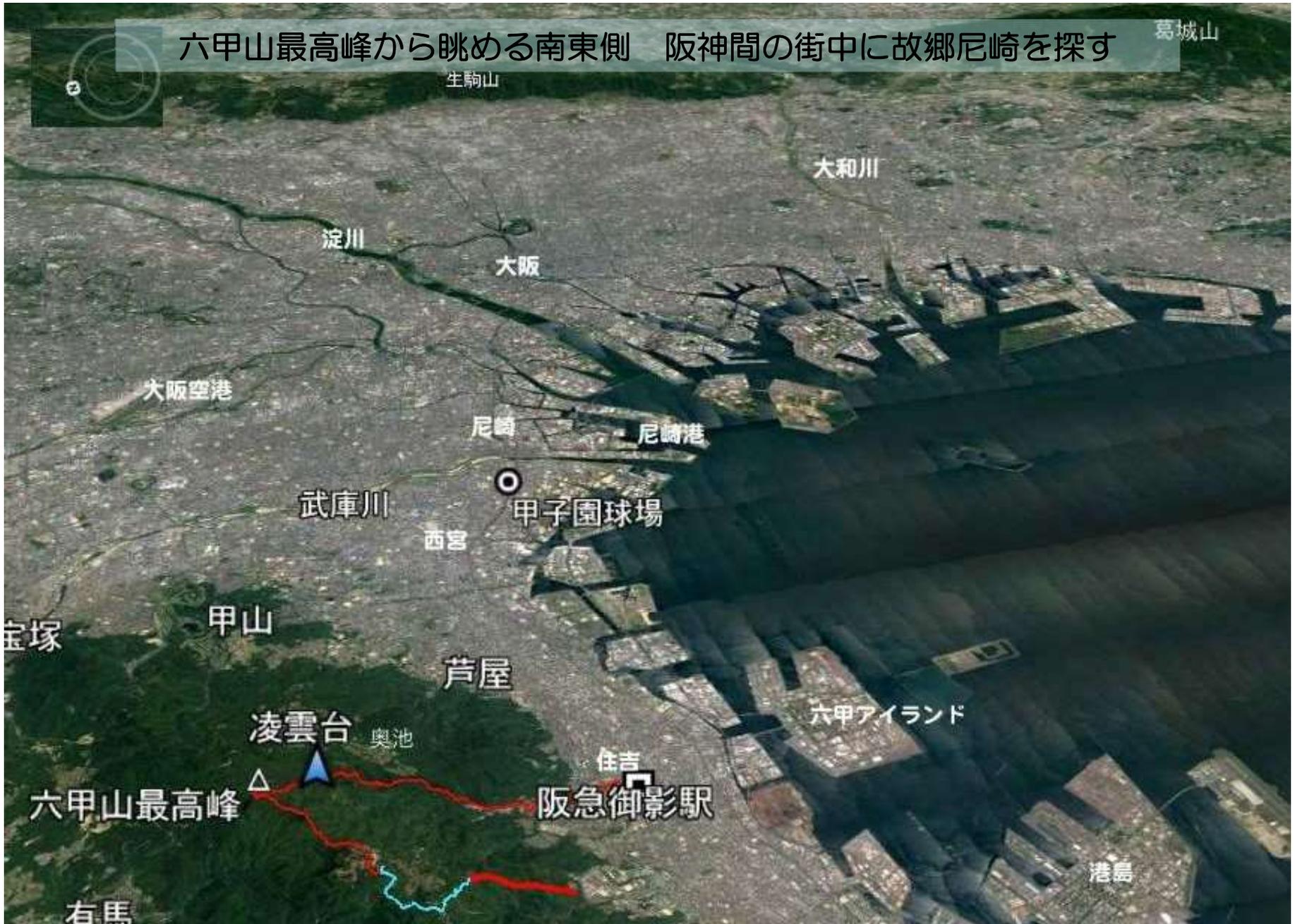
住吉

阪急御影駅

六甲山最高峰

港島

有馬







谷を挟んで南西側には歩いてきた六甲の山上 歩き始めた六甲山上ガーデンテラスや  
有馬ロープウェイ駅の鉄塔電波塔群が見えている  
六甲最高峰頂上より南西側の展望 2018.6.14.



六甲連山の山並みの北側の奥に有馬温泉が見えている  
六甲最高峰頂上より西側の展望 2018.6.14.



正面に北神戸から三田の街並み遠望  
六甲最高峰頂上より北側の展望

2018.6.14.



正面に北神戸から三田の街並み遠望  
六甲最高峰頂上より北側の展望

2018.6.14



電波塔のある山上部に隠れて見えない南東側の大坂平野 2018.6.14. 山上の北端より



六甲最高峰山上の南端から眺める南東側に広がる大阪平野の大展望 2018.6.14.





左の生駒山を背に広がる大阪平野 中央緑の帯が武庫川 右には西宮・尼崎の港 手前中央に芦屋奥池の街



六甲最高峰から眺める大阪平野 2018.6.14.

六甲山最高峰から眺める南東側 阪神間の街中に故郷尼崎を探す

葛城山

生駒山





手前 山中に見えるのが東おたふく山山麓 奥池の街並 子供の頃定番のハイキングコース その  
向こうに ぼんやり見える生駒の山並みを背に 西宮～大阪の市街地が見える 左から右へ中央  
の緑の帯が尼崎/西宮を分ける武庫川 その奥 薄い白い帯が淀川 その間に故郷尼崎が見えている

六甲山最高峰から眺める東側 六甲連山に沿って広がる街並 2018.6.14.

玉駒山

(玉駒山から南へ見た風景(玉駒山)

(大阪のビル群を背景に 南北に流れる淀川の流れ)

玉江橋 阪神尼崎駅

R171・新幹線 名神 山手幹線

(緑のベルト・武庫川)

R2・武庫川大橋

(緑のベルト・武庫川)

甲子園



六甲山上 六甲最高峰より 尼崎遠望 2018.6.14.



**六甲山最高峰から眺める南東側 阪神間の街中に故郷尼崎を探す(1)**

東西に阪神国道に沿ってビル群が東西に並ぶ西宮の中心街 右端の緑が西宮神社(えっぺっさん)か?  
右端○印が阪神尼崎あたり ぼんやり再建中の尼崎城がみえている気がする



## 六甲山最高峰から眺める南東側 阪神間の街中に故郷尼崎を探す(2)

大阪の街のビル群・淀川を背に ○印が阪神尼崎・玉江橋周辺 目印白いアルカイツホテル・総合文化センターのビルが見える。 その左が阪神尼崎周辺？ 尼崎城がみえている気がする

六甲山最高峰から眺める南東側 阪神間の街中に故郷尼崎を探す

葛城山

生駒山

大和川

淀川

大阪

大阪空港

尼崎

尼崎港

武庫川

甲子園球場

西宮

宝塚

甲山

芦屋

六甲アイランド

凌雲台

奥池

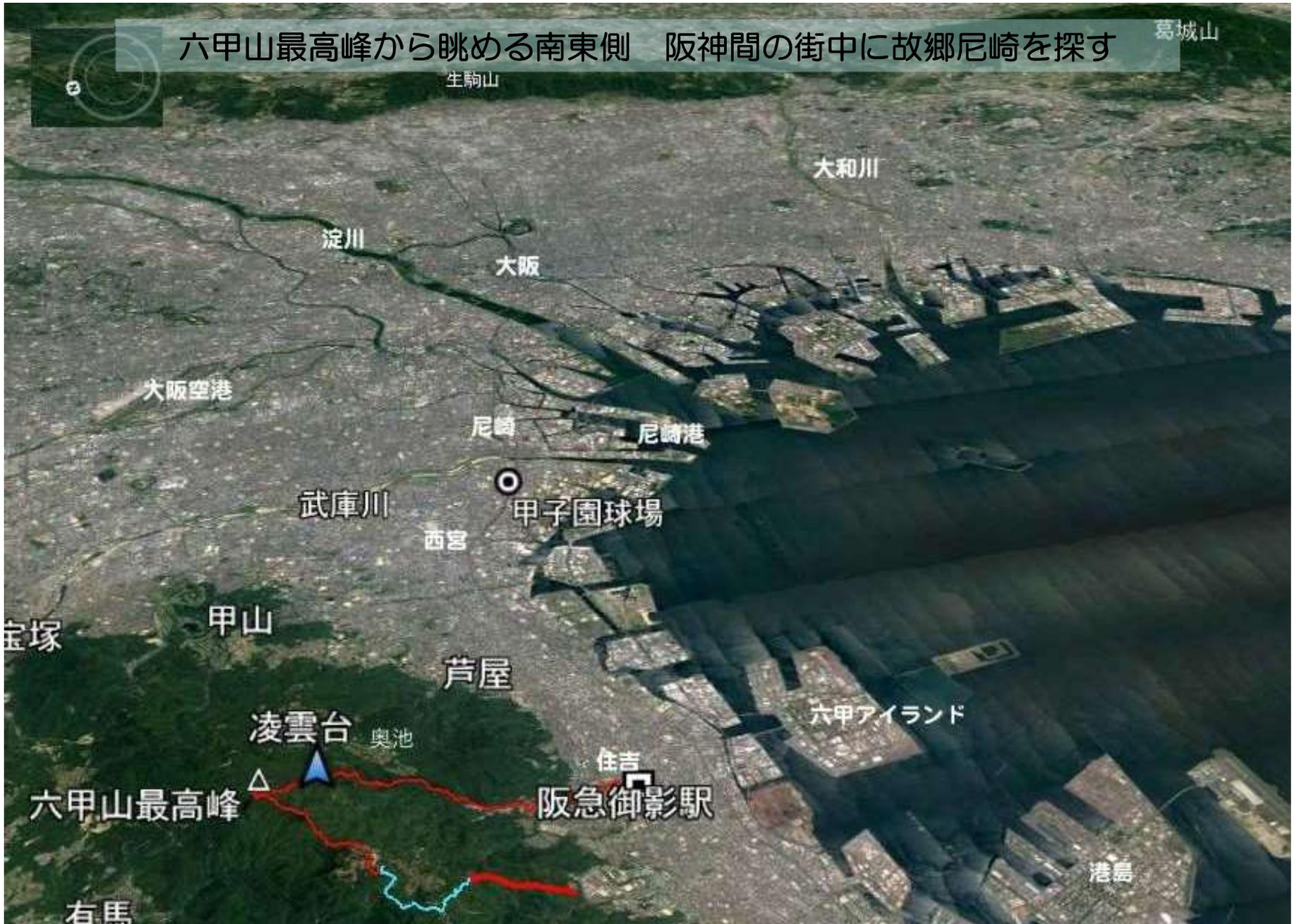
六甲山最高峰

住吉

阪急御影駅

港島

有馬



楽しみにしていた大阪湾沿岸東部 尼崎の街や大阪のビル群がぼんやりながら遠望できました。

また、今再建中の尼崎の城も・・・・・

長いことゆかなかった六甲山最高峰が こんなにきれいに整備され、約1時間の山上散歩で訪れられたのにもびっくり。

また、いつも遠く遠望する六甲稜線に見える鉄塔・電波塔にしっかり出会えたのも収穫。

新鮮でうれしい六甲山上 緑のWalkになりました。

帰りは 南すぐ下のドライブウェイの一軒茶屋に出て、久しぶりに古い六甲越えの道 住吉谷を降る。 もう10年以上入ったことなし。 長い下りのウォークになるが、興味深々で最高峰を後にする。



A photograph of a mountain peak. In the center, a tall, dark metal communication tower stands on a small hill. The tower has several large, light-colored satellite dishes or antennas. Below the tower, a dirt path leads up the hill. The foreground is filled with dense, green, leafy vegetation. In the background, a few people can be seen sitting on a bench or rocks near the base of the tower. The sky is overcast and grey.

山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める 2018.6.14.

六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ 2018.6.14.



< 終 >  
引き続き 楽しみにしていた住吉谷を下る



裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越 有馬道  
六甲最高峰より古道「住吉道」から住吉谷を下る



山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める

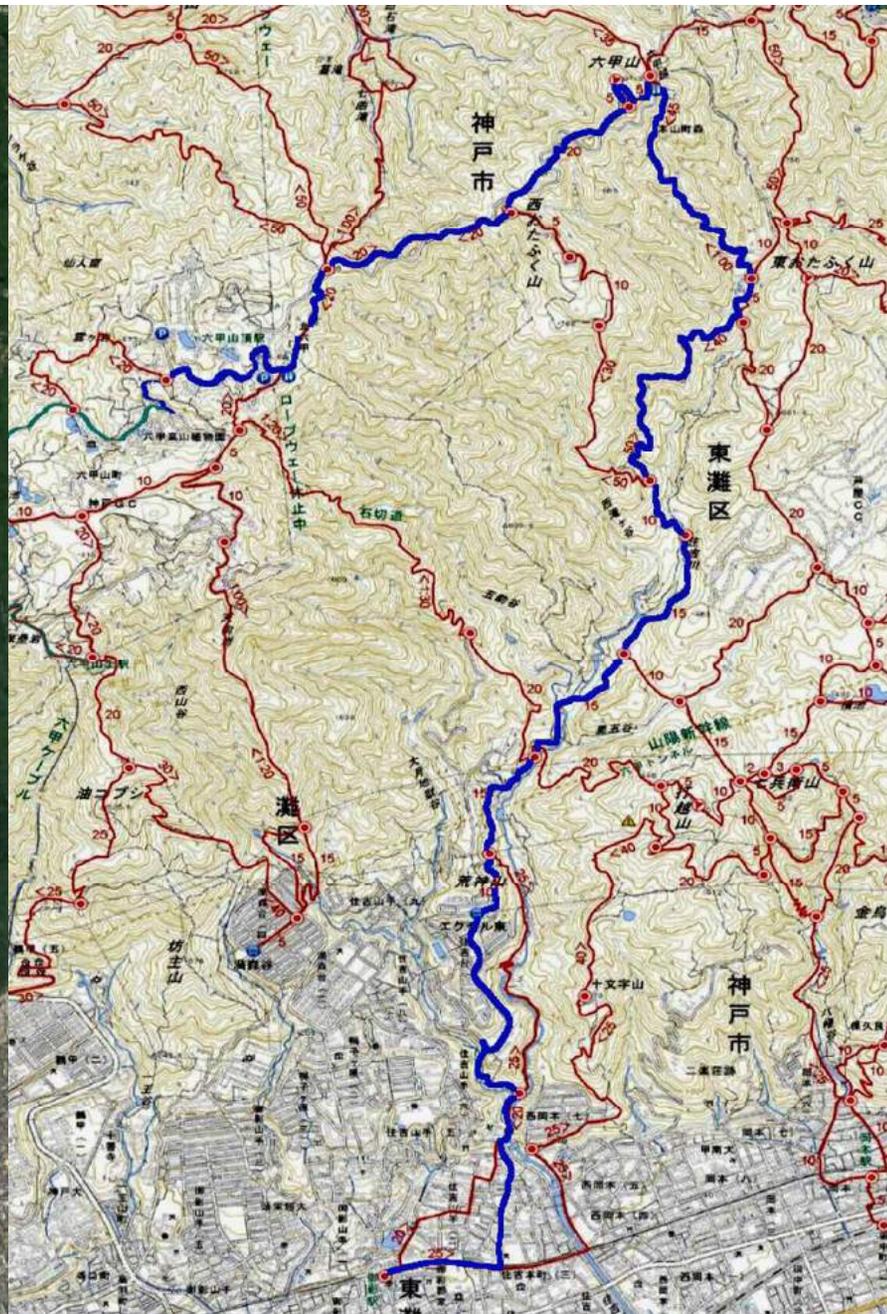
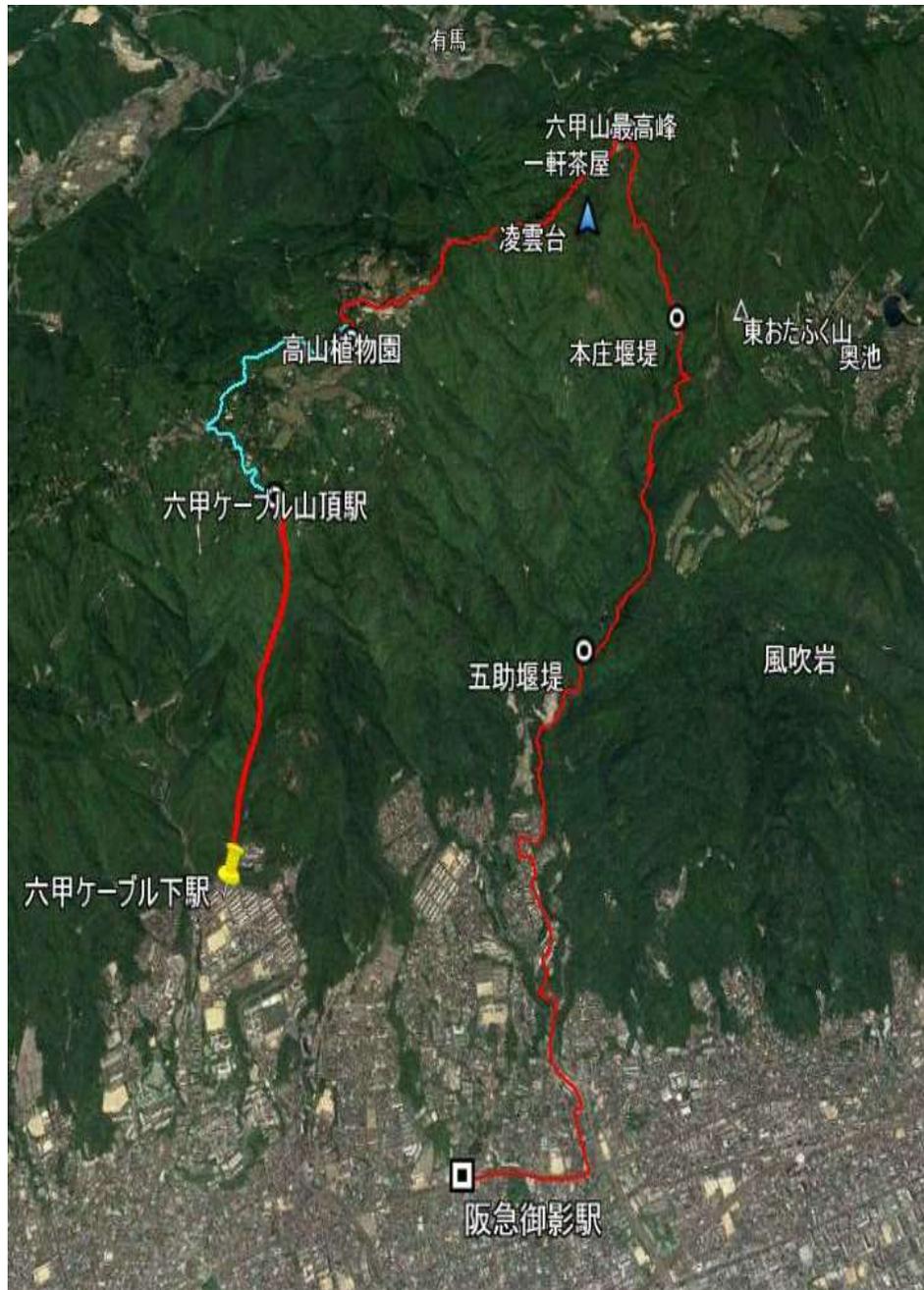
2018.6.14.

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

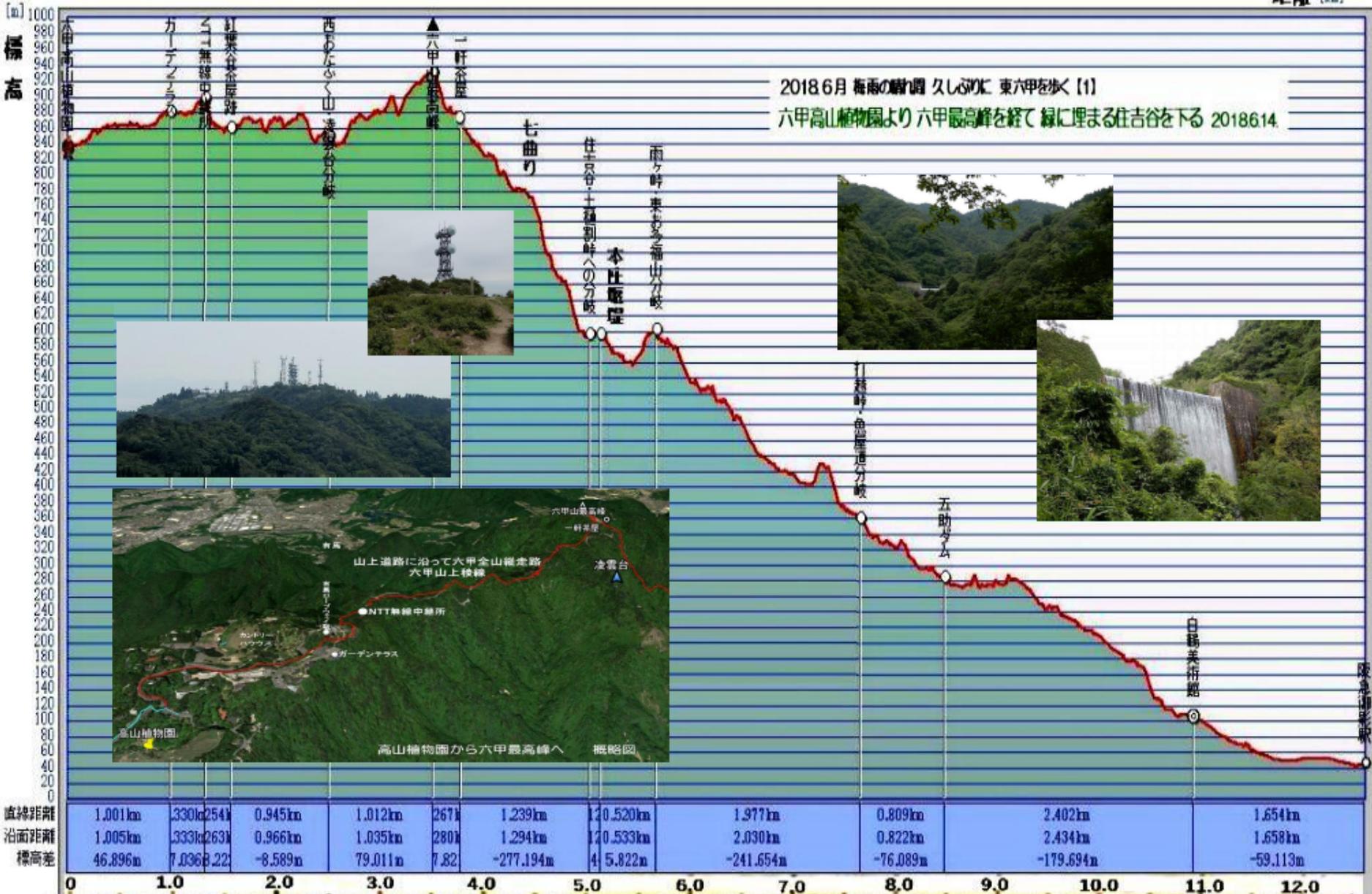
### 3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る







2018 6月 梅雨の晴れ間 久しぶりに 東六甲を歩く【1】  
六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 緑に埋まる住吉谷を下る 2018.6.14.



直線距離	1.001km	330m	254m	0.945km	1.012km	267m	1.239km	1.0520km	1.977km	0.809km	2.402km	1.654km
沿面距離	1.005km	333m	263m	0.966km	1.035km	280m	1.294km	1.0533km	2.030km	0.822km	2.434km	1.658km
標高差	46.896m	7.036m	8.22m	-8.589m	79.011m	7.82m	-277.194m	45.822m	-241.654m	-76.089m	-179.694m	-59.113m



六甲山最高峰 一軒茶屋

凌雲台

本庄堰堤

高山植物園

奥池

北山貯水池

六甲山

六甲ケーブル山頂駅

甲山

五助堰堤

菅屋

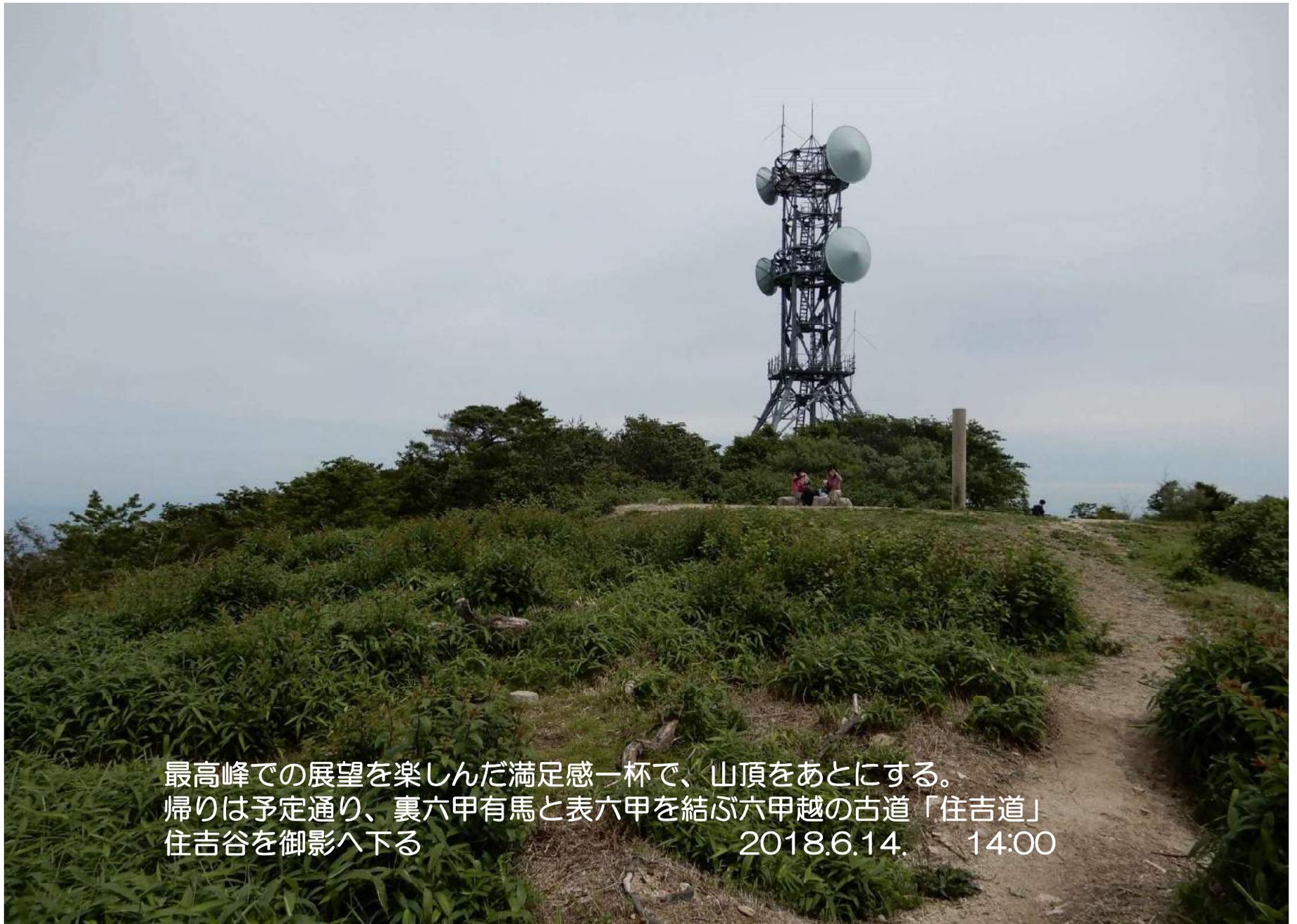
六甲ケーブル下駅

渦が森 住吉台

岡本

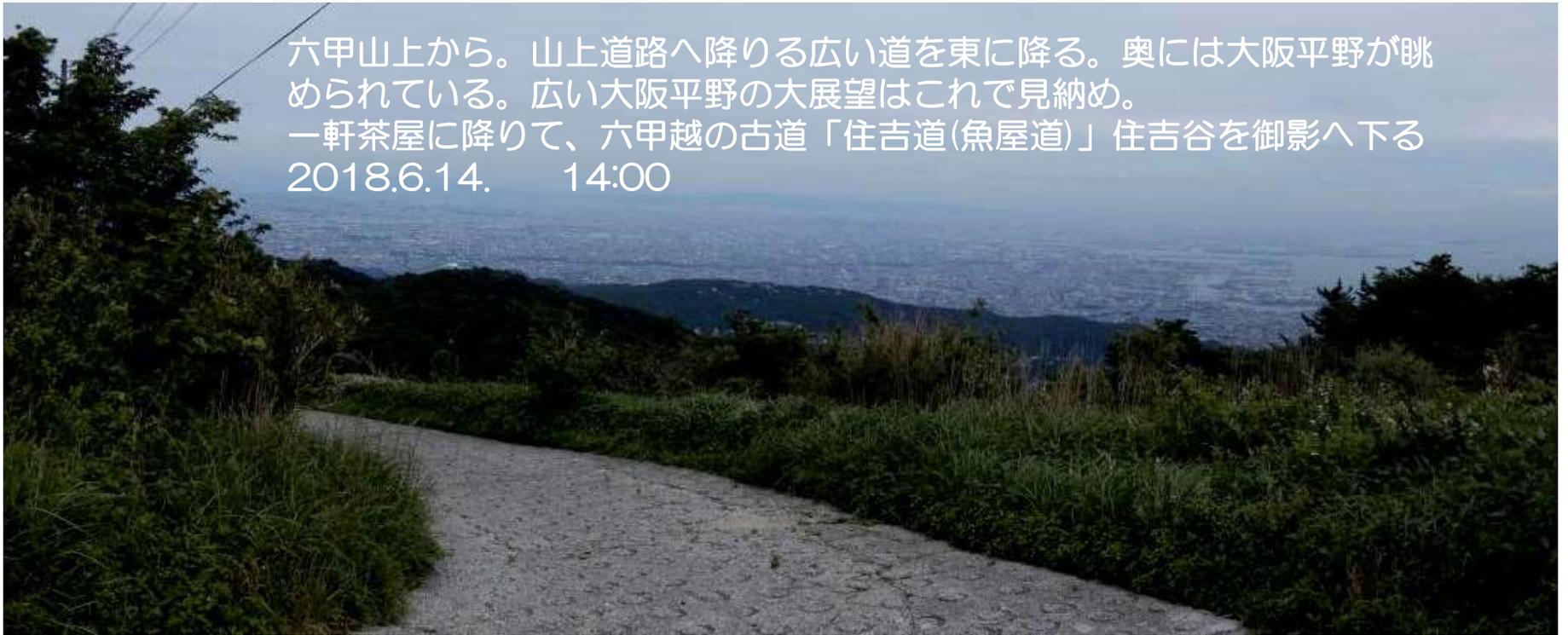
鶴甲

阪急御影駅



最高峰での展望を楽しんだ満足感一杯で、山頂をあとにする。  
帰りは予定通り、裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」  
住吉谷を御影へ下る 2018.6.14. 14:00

六甲山上から。山上道路へ降りる広い道を東に降る。奥には大阪平野が眺められている。広い大阪平野の大展望はこれで見納め。  
一軒茶屋に降りて、六甲越の古道「住吉道(魚屋道)」住吉谷を御影へ下る  
2018.6.14. 14:00





谷を挟んで南西側には歩いてきた六甲の山上 歩き始めた六甲山上ガーデンテラスや  
有馬ロープウェイ駅の鉄塔電波塔群が見えている  
六甲最高峰頂上より南西側の展望 2018.6.14.



最高峰 南峰  
すぐ下の山上ドライブウェイにある一軒茶屋が見え、  
その奥が今から下る住吉谷 古道 魚屋道・住吉道である。



2018.6.14. 一軒茶屋横 山上ドライブウェイにでる



2018.6.14. 山上ドライブウェイにある一軒茶屋





2018.6.14. 住吉谷へ下る七曲りの急坂の入口 14:09



摩耶山

阪急御影駅

六甲ケーブル下駅

渦が森

住吉台

六甲ケーブル山頂駅

高山植物園

風吹岩

五助堰堤

雨ヶ峠・芦屋川分岐

雨ヶ峠

凌雲台

本庄堰堤

東おたふく山

土樋割峠・奥池分岐

魚屋道(住吉道)  
七曲り

六甲山最高峰

一軒茶屋

奥池

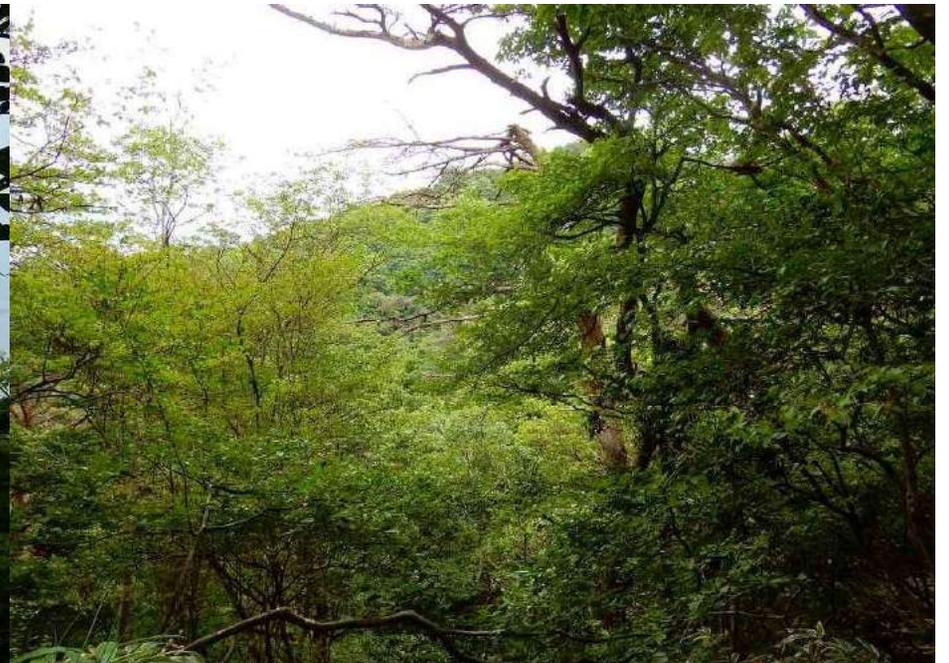
Google



2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂



2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂  
山上稜線から谷筋にはいると緑につつまれ、急な下り道が続く



2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂

A photograph of a dense, green forest covering a hillside. In the distance, a tall, white radio tower is visible on a peak. The foreground is filled with various types of green foliage, including large leaves and branches. The sky is bright and overcast.

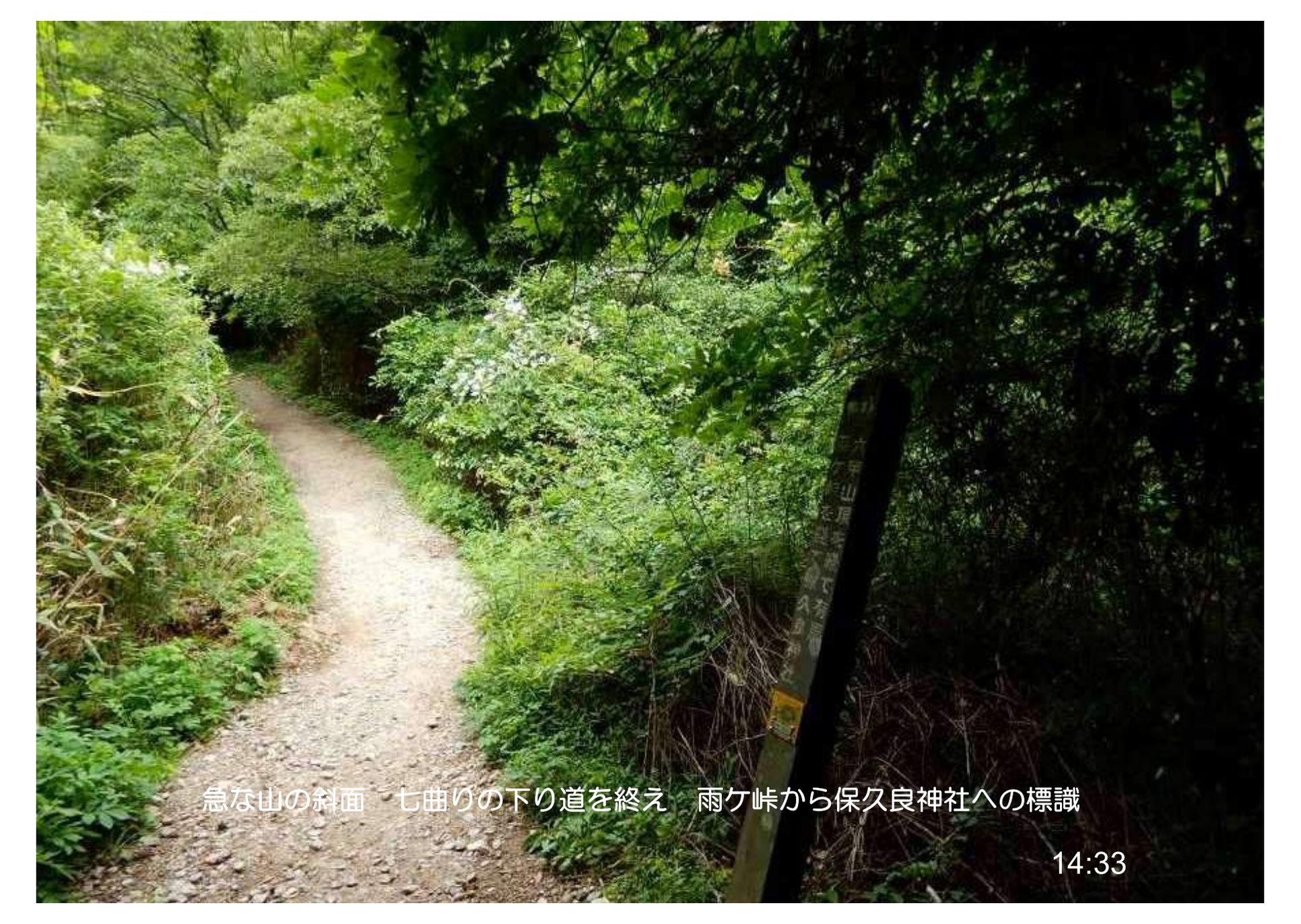
2018.6.18. 住吉谷へくだる七曲りの急坂  
遠くに谷越しに西おたふく山の電波塔が見える

14:20

A wide-angle photograph of a lush green valley. The foreground and middle ground are filled with dense, vibrant green vegetation, including various trees and shrubs. In the distance, a river or stream is visible, winding through the valley. The sky is overcast and grey. The overall scene is a dense, verdant landscape.

住吉道から眺める住吉谷

右手に本庄堰堤がちらっと見えるが、この左 緑の中に本庄橋跡がある 14:32



急な山の斜面 七曲りの下り道を終え 雨ヶ峠から保久良神社への標識

14:33



林の中を潜り抜けると谷筋を流れ下る住吉川の上流部に出て、反対側へ渡る。14:35  
ここは肘割峠から奥池・東おたふく山への道との分岐点。  
ここから奥池へは山の中腹に開かれた住宅地で戸有道路をバスが通っているので、  
アプローチが短く、東六甲ハイクの登山口として使う人が多い。  
住吉谷の上流部で ここから道は住吉川の谷筋を東おたふく山に沿って下る



2018.6.14、川を渡ったところが、土樋割峠から奥池・東おたふく山への道との分岐点。



ここからは東おたふく山の山腹に沿って 住吉川の左岸につけられた住吉道  
左岸道を下る 谷筋道であるが、緑に包まれ、谷底などは視界が遮られみえない



本庄堰堤を眺めながら横を通過 東おたふく山の山腹沿いを降る 14:38  
かつての暴れ川 住吉川 砂防工事が行われ、いくつも堰堤が作られている



六甲山は、激しい地震を伴いながら、断層のずれを繰り返した結果出来上がった山で、地下深くまでズタズタに割れ、激しく風化しています。このため、過去に幾度も大きな災害が引き起こされ、ました。

明治の頃、乱伐によって裸地であった六甲山は、治山事業等による緑化工事の結果、現在の緑の豊かな美しい山に蘇りました。

しかし、植物が育つうえで、その土壌は未熟で極めて薄く、雨が降るとすぐ流されてしまうのが現状です。

また、雨は下方に一気にしみ込んでしまう地質のため、水を蓄える力もほとんどありません。

樹木の根が生長し、災害に強く、土の層が水を蓄える力を十分持つようになるためには、何百年の歳月をさらに必要とし、今も緑の回復に全力で取り組まれている。

激しく浸食が続いている六甲山には、階段式に数多く治山ダムをつくる必要があります。

過去に何度も、激しい豪雨に耐えきれなくなった山が崩れ、土砂流となって街を襲いました。

中でも、700人を越える死者・行方不明者を出した昭和13年災害、100人を越える死者・行方不明者を出した昭和42年災害は、近年で特に大きく、街に壊滅的な被害を与えました。



在四川の被災（「阪神地方水害記念誌」より）

## 治山ダムの役割

一つは、谷から極端に砂礫が流れ出ないようにくい止めて、浸食を防止することです。不安定な山の斜面が大雨で土石流化し、災害を引き起こすのを防ぐと共に、森の土が流れ出ないようにすることにより、樹木の根の成長を促します。根がネットのようにはりめぐらされ、杭のように地面に刺さっていけば、山が崩れるのを防ぐ力がさらに発揮されるようになります。

もう一つは、治山ダムの裏に貯まった土砂と土砂の隙間に、雨水を貯えることです。土の中の微生物や昆虫、植物等が生きていくための大切な水を、ゆっくり下流に流すことにより、溪流から水が涸れるのを防ぎ、乾燥した時期にも供給することができます。また、大雨が降っても、いっきに水が流出することを押さえて、洪水を調節する機能も持っています。

（インターネットより）

## 山で起こった災害

六甲山地は、東は武庫川右岸山麓から六甲山・摩耶山・再度山などの山並みを越え、西は鉢伏山までの、東西に約30km、南北に約10kmの山地で、大部分を風化した花崗岩で覆われています。

風化した花崗岩は、大雨・長雨により崩れやすく、これまで数多くの土砂災害を起こしました。

昭和13年7月5日に発生した阪神大水害では、下流域の街を巨大な土石流が襲い多くの人命や家屋を失いました。



阪急鉄橋より下流を望む



住吉川に流れて来た巨岩



阪道住吉橋付近を望む



住吉小学校第二校舎之側

## 住吉川流域図



## 国土交通省 六甲砂防事務所

住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
電話：078-851-0535

### 六甲の川物語

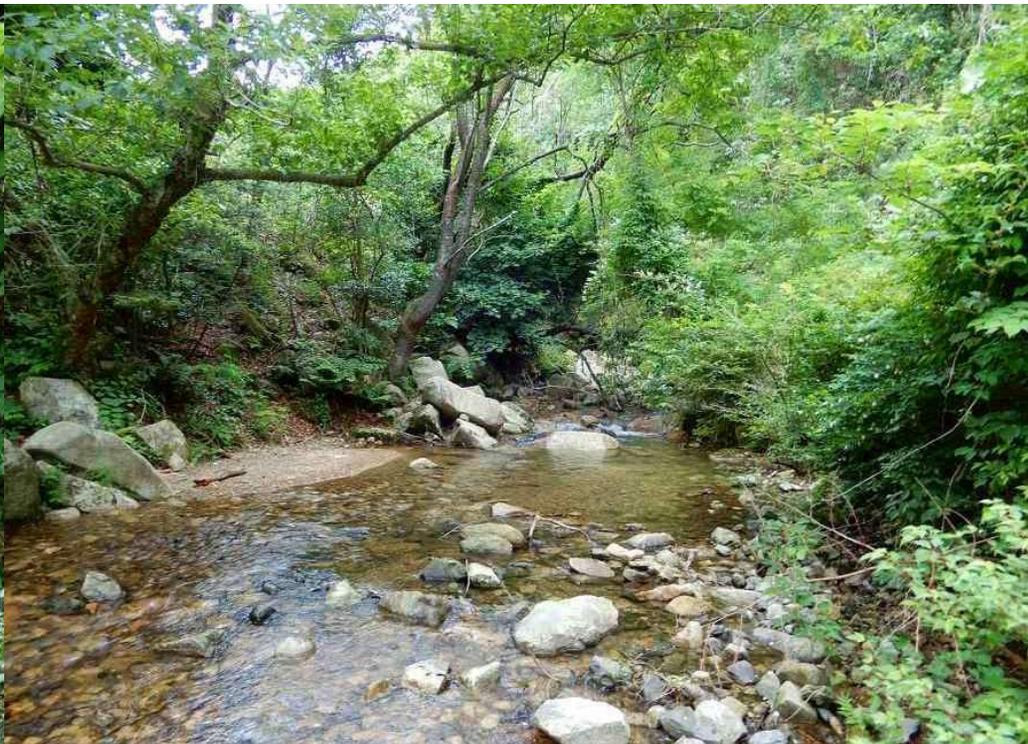
～ みんなで語り、伝えよう! 住吉川物語 ～

六甲山地の自然や歴史・文化にまつわる街の不思議や素晴らしいさを楽しめる学習教材「六甲の川物語」

ホームページ: <http://www.rokko.kkr.mlit.go.jp/>

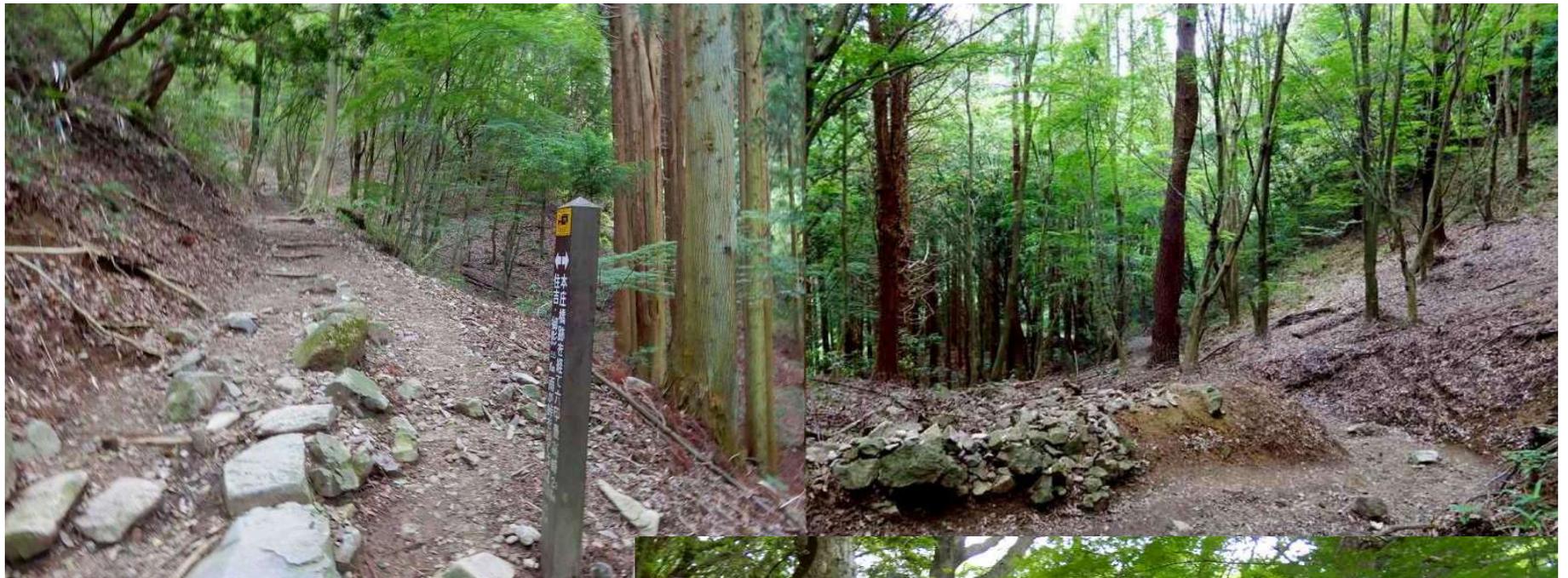
「六甲の川物語」冊子」「サブノート」「教案マップ」が







14:44



谷筋道を登ったり下ったり、緑のトンネルが美しい  
かつては丸裸になって、荒れた住吉谷であるが、見事に緑が復活して美しい。



本庄橋跡を登りて  
雨ヶ峠を越えて  
住吉川に下る

住吉

雨ヶ峠

本庄橋跡・六甲最高峰

住吉道と雨ヶ峠を芦屋川へ下る道との分岐周辺 14:50  
魚屋道はここから左へ雨ヶ峠へ向かうが、住吉道はそのまま住吉川に沿って五助堰堤へ下ってゆく



緑に埋まった住吉谷中心部      2018.6.14.      14:52

雨ヶ峠分岐周辺からは 今下ってきた住吉谷の中央にどっかと座った本庄堰堤がみえ、  
後ろに六甲穂線の上りが見えています

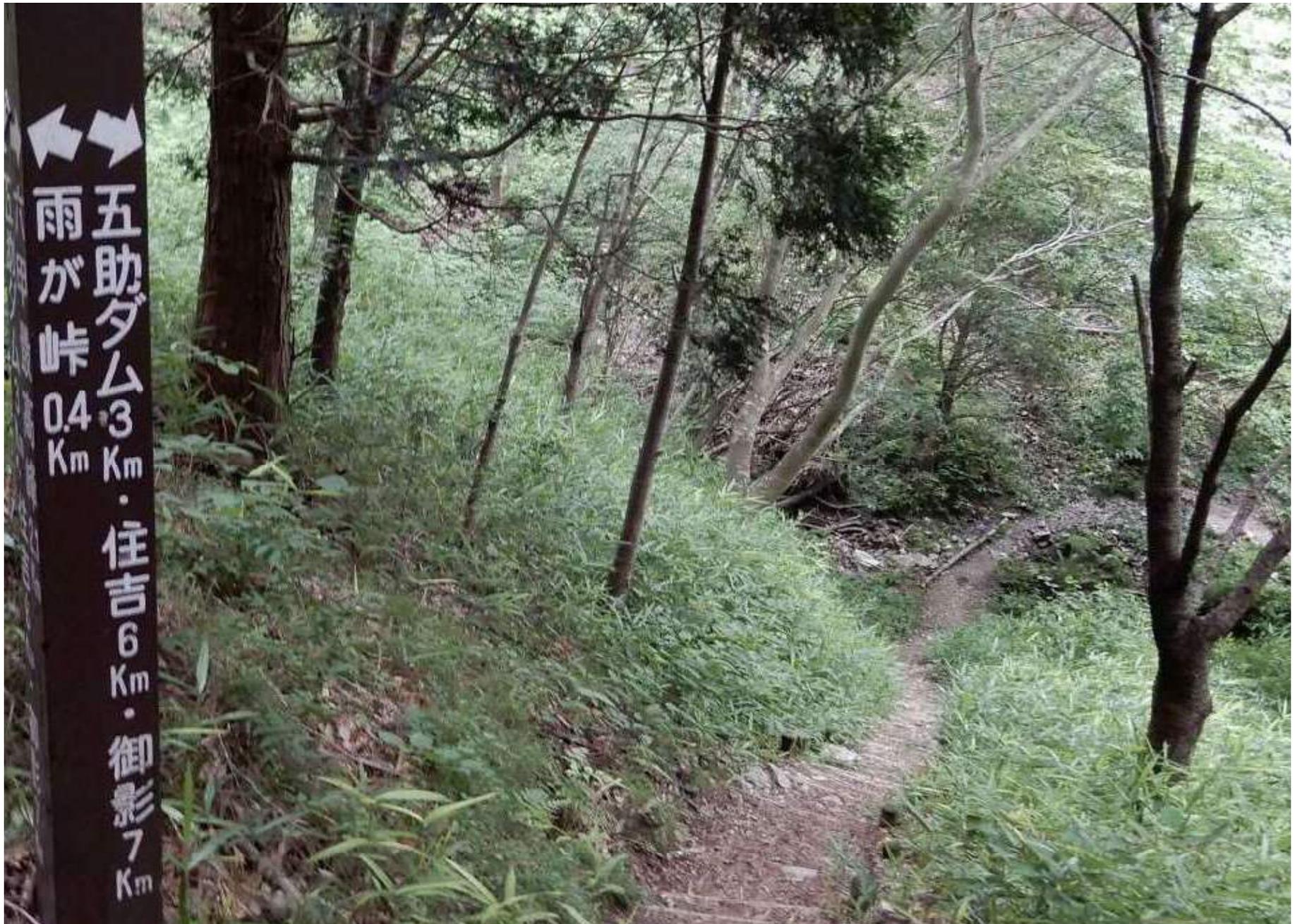


緑に埋まった住吉谷中心部 2018.6.14. 14:52

雨ヶ峠分岐周辺からは 今下ってきた住吉谷の中央にどっかと座った本庄堰堤がみえ、  
後ろに古田穂嶺の山並みが見えている



雨ヶ崎へ登る道がここにもある 14:56



雨が峠 0.4 Km  
五助ダム 3 Km  
住吉 6 Km  
御影 7 Km



東おたふく山 雨ヶ峠への分岐を過ぎ、五助ダムへのと下る住吉道 2018.6.14. 15:00



雨ヶ峠への分岐を過ぎ、五助ダムへと下る住吉道 2018.6.14.  
ここでも すぐ下の谷に住吉川に作られた堰堤が見え、急流住吉川の土石流のこわさがわかる



住吉谷 雨ヶ峠への分岐を過ぎ、五助ダムへと下る住吉道 2018.6.14.



住吉道 左岸道 五助ダムの手前で 2018.6.14. 15:04

ここから道は東おたふく山の巻道から谷の底へと下ってゆく

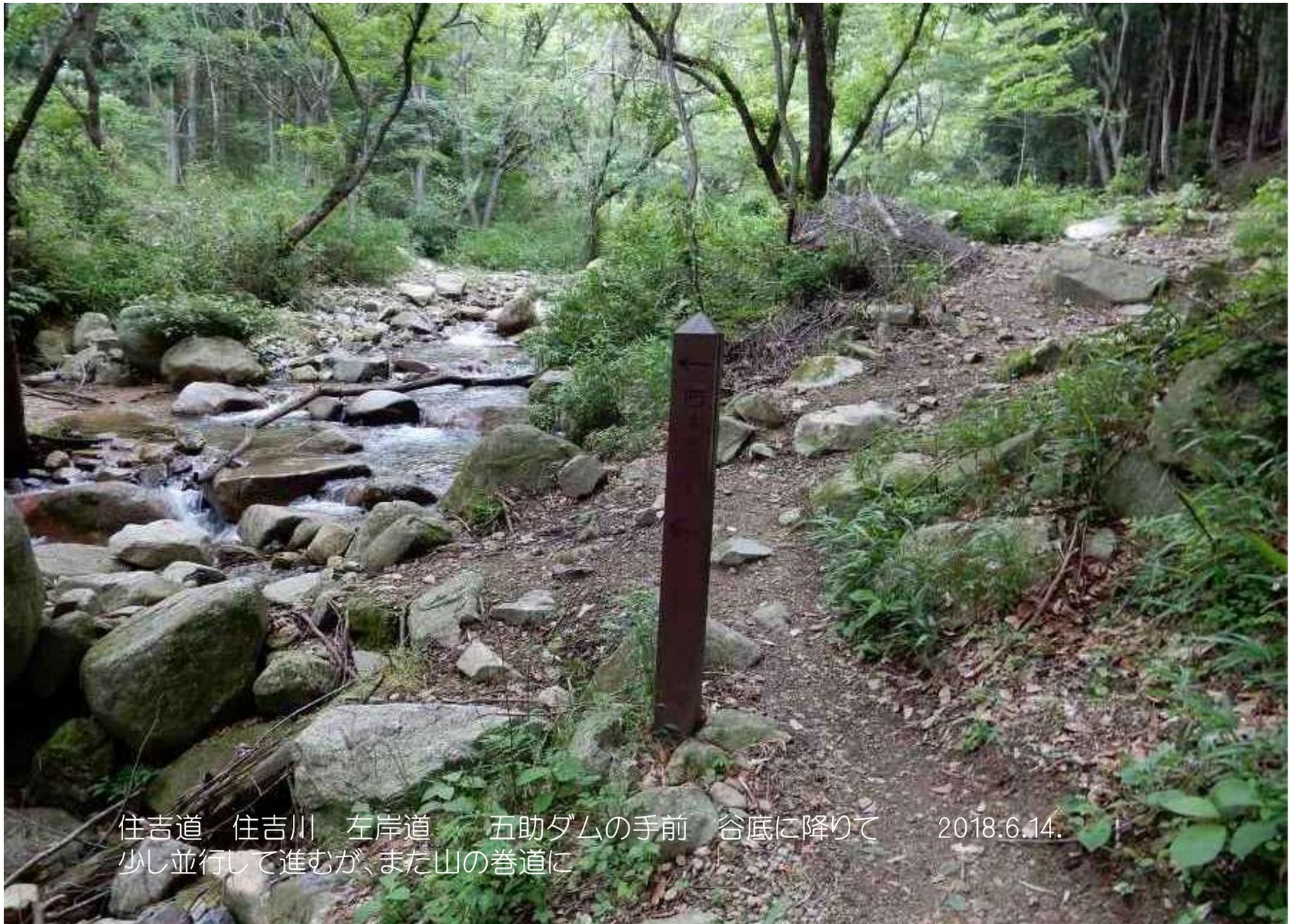


住吉道 左岸道 五助ダムへの下りで 2018.6.14.

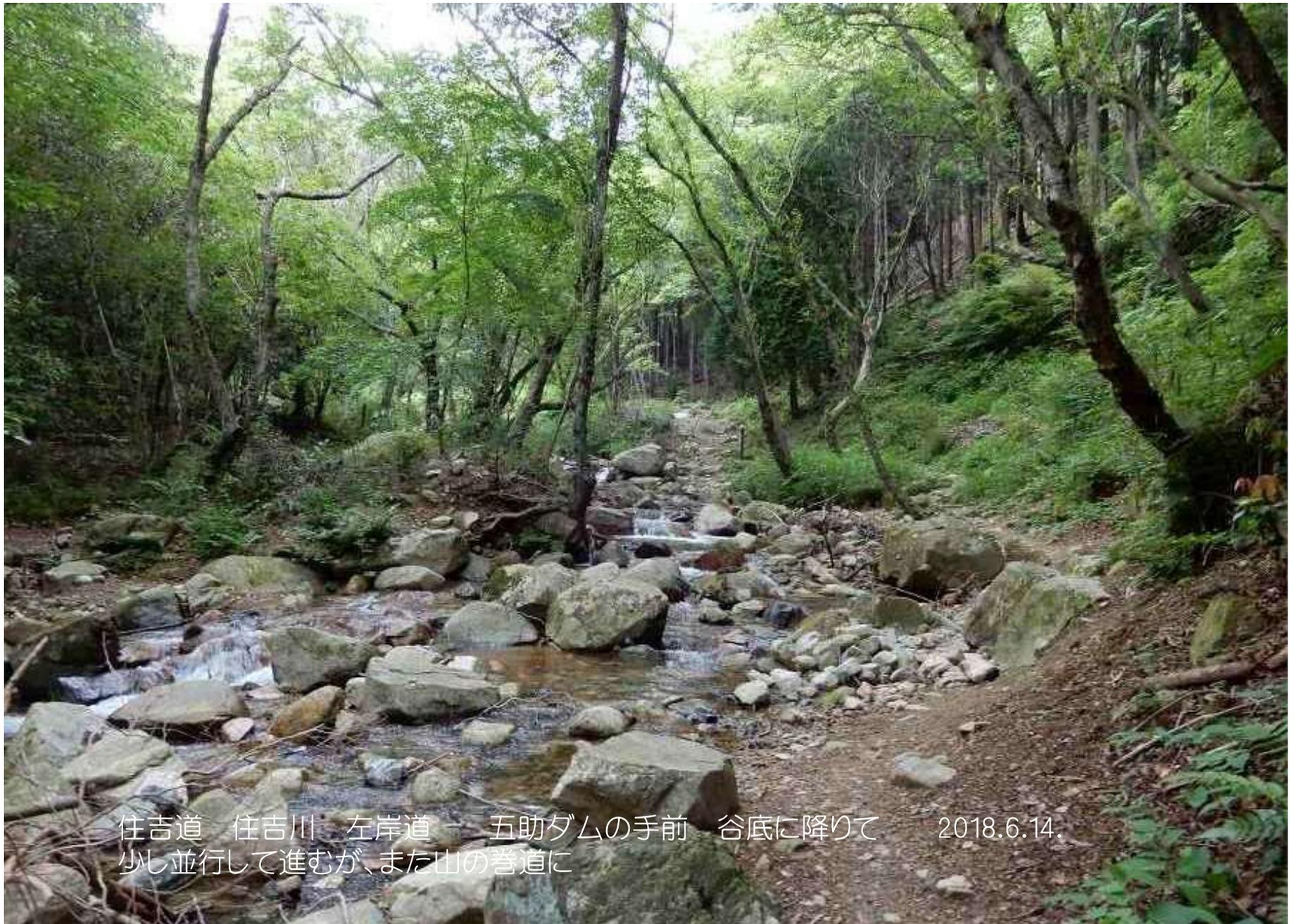


住吉道 左岸道 五助ダムへの下りで 2018.6.14.

15:10



住吉道 住吉川 左岸道 五助ダムの手前 谷底に降りて 2018.6.14.  
少し並行して進むが、また山の巻道に



住吉道 住吉川 左岸道 - 五助ダムの手前 谷底に降りて 2018.6.14.  
少し並行して進むが、また山の巻道に



谷から山巔に沿って林の中に入る

15:21



林を抜けるとまた、住吉谷の崖沿いに、周囲はぱっと明るくなって緑に包まれる



住吉道 五助ダムの手前 打越山への分岐近く 谷の奥に六甲最高峰の塔か？

15:24



# アカホヤ火山灰の地層

## 六甲山地の形成

アカホヤ火山灰とは、約7,300年前に南九州の地殻火山（鬼界カルデラ）が噴出活動したときに、日本全土をおおぐらい広範囲に火山灰が降下してきたものです。西海ヶ谷の露頭では、アカホヤ火山灰層を見ることが出来ます。



アカホヤ火山灰（平成18年の様子）



鬼界カルデラの位置（参考：町田啓、2016）  
火山フロント線の西側に火山が多い。

## 「アカホヤ」からなにがわかるの？

地層の年代を決める目印となり、アカホヤ火山灰の上にある地層は、約7,300年より新しい地層、下にある地層は約7,300年より古い地層となります。西海ヶ谷の露頭から、アカホヤ火山灰が地殻変動により変形していることがわかり、約7,300年前以降の新しい時代に地層が活動した証拠となります。

## 「アカホヤ」はキラキラ光るってほんとう？

アカホヤ火山灰は、電球が割れたようなガラス質ですが、正確には火山灰の上部がキラキラすること、ランプのガラスを「ホヤ」と呼ぶことが、合わせて、「アカホヤ」と言われています。九州と六甲のアカホヤでは、色やガラス質粒子の大きさが異なります。

### ●西海ヶ谷露頭（アカホヤ）

西海ヶ谷の露頭では、断層運動によってアカホヤ火山灰層をきざんで砂れき層が露出しています。これは、約7,300年前以降に五劫断層が活動したことを示す証拠であり、学術的にも貴重なものです。



西海ヶ谷露頭 断層・流路変位と地層の様子



露頭のスケッチ

断層線…地層などが地表に露出している部分

# 砂防工事の工夫

## 経済的で環境にやさしい堰堤づくり

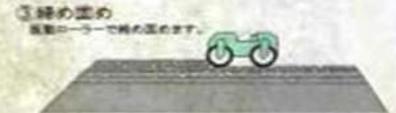
西海ヶ谷には、インセム工法でできた砂防堰堤があります。

インセム工法は、工事で発生した土砂とセメントを混ぜ合わせ、突き固めて出来た砂防堰堤です。インセム工法で造る砂防堰堤は、コンクリートで作る砂防堰堤より、現場発生土砂を使うことから費用が安くなります。また、運搬の材料のほとんどが土砂でできていることから、現場の風景になじみます。



インセム工法の堰堤

### <インセム工法/施工イメージ図>



### インセム (INSEM) の意味とは・・・

インセム (INSEM: In-situ Stabilized Excavation Material)  
(直訳で) (2土1セ) (直訳) (直訳)

## 六甲の川物語

～ みんなで語り、伝えよう！住吉川物語 ～

### 【問い合わせ先】

国土交通省六甲砂防事務所

住所：〒668-0062 神戸市東灘区住吉東町9-13-15

電話：078-851-0635

ホームページ：http://www.rokkokko.rn.t.go.jp/

（六甲の川物語「種子」サブノート）「敷地マップ」がダウンロードできます。



住吉川に施された砂防工事の案内板 かつて土石流が暴れ下った住吉谷 いくつもの堰が作られ、今は緑に包まれた静かな谷になっている。六甲の谷筋はほかにも急流が駆け下る谷筋、東神戸の街を守る大規模な砂防工事と山全域にわたる植林が施され、緑豊かな静かな谷に。子供の頃 表六甲の谷筋は 知らぬ谷筋や道に入るなどよく言われましたが、こんなに緑につつまれた谷になっているとは本当にびっくり。でも 油断禁物だ。

A photograph of a stone-paved path winding through a dense forest. The path is made of irregular, light-colored stones and leads uphill. The surrounding area is filled with lush green vegetation, including ferns and various trees. The lighting is soft, suggesting a shaded forest environment.

住吉道 打越山への分岐近くで 山中に突然 石畳み道が現れました  
古道 住吉道のなごりか? 15:32



住吉道、住吉川左岸道 打越峠分岐 ここで 魚屋道は左へ  
住吉道はそのまま谷沿いを下る 古道の雰囲気そのまま残る石畳道 15:34



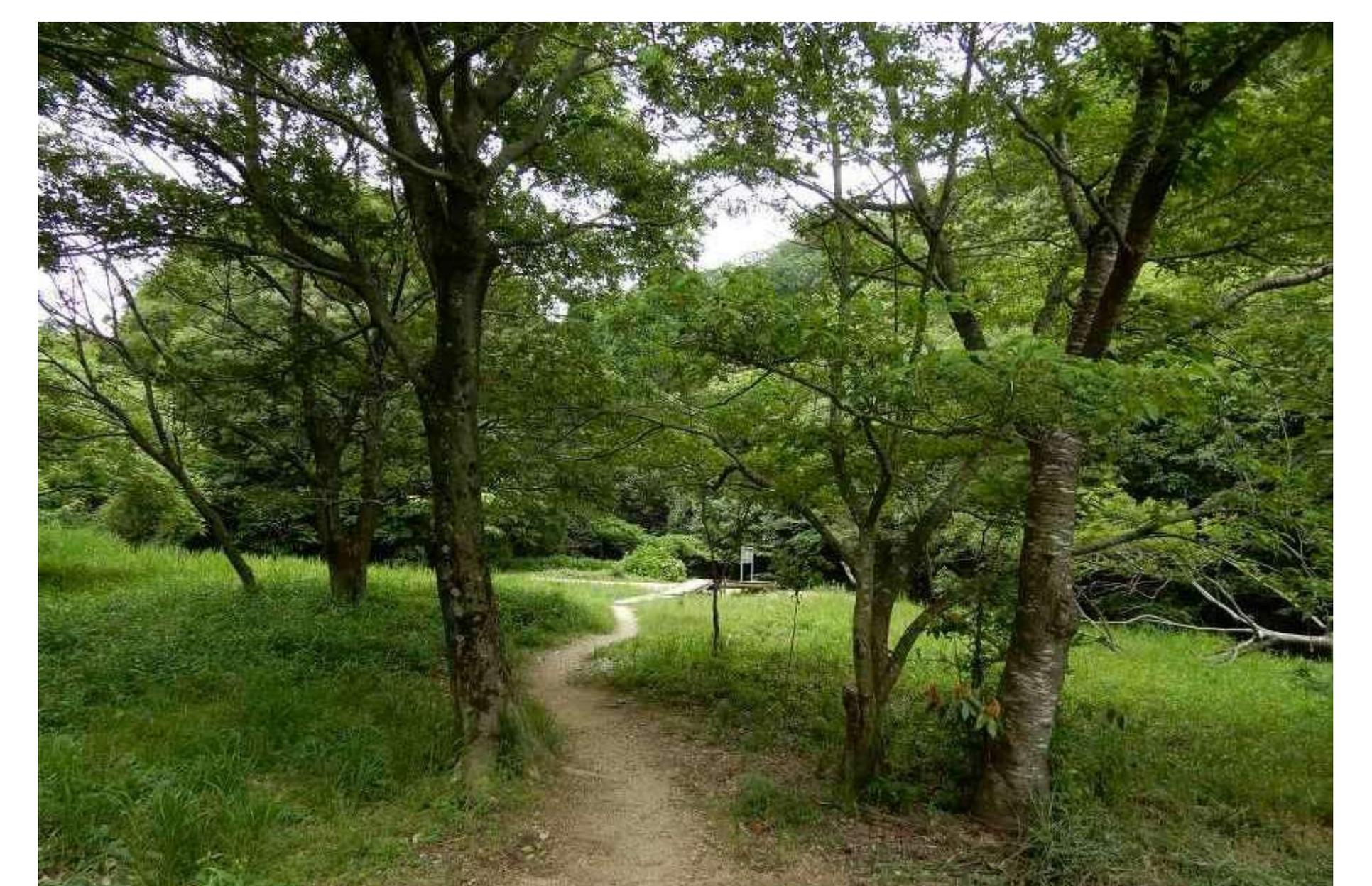
2018.6.14. 五助ダム湖 湿地の一部  
林の中の坂道を下ると小さな池の横に出て、向こうは明るい  
後から考えるとこの池も五助ダムのダム湖の一部かもしれない



五助ダムのダム湖の一部？ 奥に湿地を渡る木道が見えている



2017.6.14. 住吉谷 五助ダム湖 広い湿地の中 小川が流れ、木道を渡ってゆく

A photograph of a dirt path winding through a lush green forest. The path is made of light-colored soil and leads into the distance, flanked by tall grasses and large, mature trees with dense green foliage. The scene is captured from a low angle, looking down the path. The lighting is bright, suggesting a sunny day.

2017.6.14. 住吉谷 五助ダム湖内の広い湿地 15:41



2017.6.14. 住吉谷 五助ダム湖



2017.6.14. 住吉谷 五助ダム 堰堤

ダム堰堤の向こうに先ほど歩いてきた湿地がみえて はっと気が付く。

もう 五助ダムは土砂でほとんど埋まっているのだと



2017.6.14. 住吉谷 五助ダム堰堤



2017.6.14. 住吉谷 五助ダム堰堤

ダムの正面 とうとうと水が流れ落ち、両側を山で挟まれた湿地全体が五助ダム湖であるとわかった。  
もう数十年前訪れた記憶とは比べようもない変貌 たたただ すごいなあ……と



Google earth 写真でみた五助ダム 湖はもう土砂でいっぱいだ





2017.6.14. 住吉川の治水・治山の案内板  
住吉谷 五助ダムサイトで 15:47

## 大雨で起こった災害

## 住吉川流域図

## 五助堰堤

六甲山地は、東は武蔵川右岸山麓から六甲山・摩耶山・高度山などの山並みを  
 通じ、西は鉢伏山までの、東西に約30km、南北に約10kmの山地で、大部分を  
 風化した花崗岩で覆われています。

風化した花崗岩は、大雨・長雨により崩れやすく、これまで数多くの土砂災害  
 を起こしました。

昭和13年7月5日に発生した阪神大水害では、下流域の街を巨大な土石流が  
 襲い多くの人命や家屋を失いました。



阪急鉄橋より下流を望む



住吉川に流れて来た巨岩



国道住吉橋付近を望む



住吉小学校第二校舎の跡



阪神大水害をきっかけに六甲山地の砂防事業を国が直接実施することになりました。  
 この間住吉川流域では、64基の砂防堰堤が完成しています。(平成23年3月現在)  
 五助堰堤は、堰堤高30.0m・堰堤長78.0mで昭和27年8月1日に着手し、  
 昭和32年3月31日に六甲山地の119番目の堰堤として完成しました。



【工事中】川底より工事材料を上げるための足場の状況



【工事中】良地の石を使って天端の工事状況



【完成】



【現在の五助堰堤】

昭和42年7月9日の集中豪雨では、五助谷で発生した約12万m<sup>3</sup>の土石流を五助堰堤が受け止め  
 下流への被害を防ぎました。

【出水前の状況】



土砂は全くたまっていない状況

【出水後の状況】



一夜にして12万m<sup>3</sup>の土砂がたまった状況



水が引いた状況

## 国土交通省 六甲砂防事務所

住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
 電話：078-851-0535

## 六甲の川物語

六甲山地の自然や歴史・文化にまつわる面の不思議や  
 素晴らしい景色を楽しく学べる学習教材「六甲の川物語」

ホームページ：http://www.rokko.kkr.mlit.go.jp/

「六甲の川物語」(冊子)「サブノート」(授業マップ)が  
 各ホームページにあります。

凡例  
 住吉川流域  
 河川  
 ハイキング道  
 道路  
 現在地



2017.6.14. 五助ダムサイトから眺める住吉谷  
まだまだ狭い谷筋が下流へ続いている やっぱり すごい谷だ



2018.6.14. 住吉道 五助ダム周辺 石切道、住吉道、打越山への3分岐  
15:51

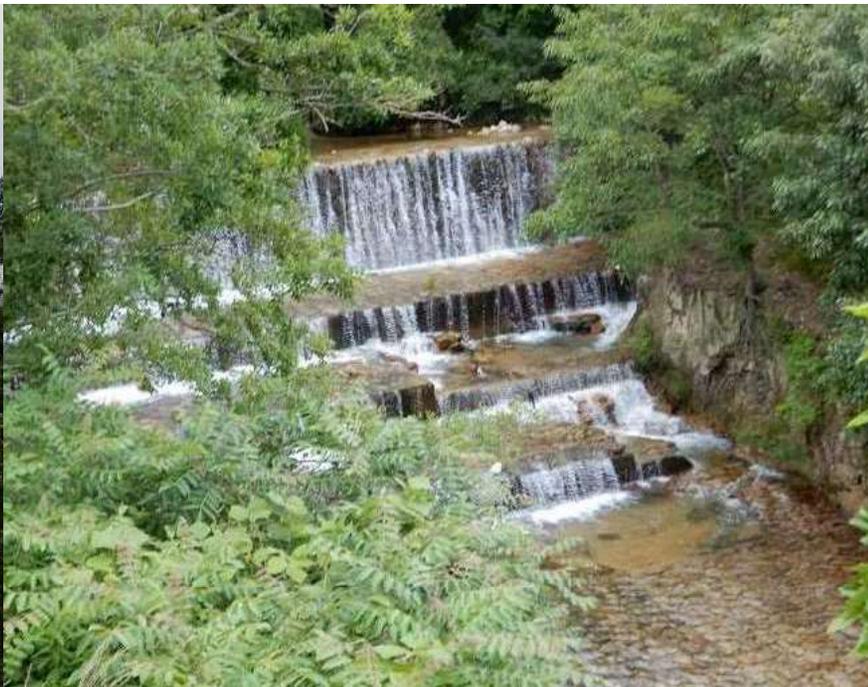


2018.6.14. 住吉川沿いを下って 阪急御影駅へ 15:56

ここはまだ六甲の山の中腹 標高200mから300m まだまた長い坂道が駅まで続く



2018.6.14. 住吉台への遊歩道      ここはまだ六甲の山の中腹    標高200mから300m  
東神戸では    六甲の山腹この辺りまで住宅地が広がっている  
ここからは住吉台の団地から白鶴美術館前へ遊歩道・住宅地を抜けてよく



2018.6.14. 住吉台の住宅地を抜け、やっと白鶴美術館前に 14:21  
もう バスに乗れるのですが、今日はきちり阪急御影まで 坂道を下る まだ30分はかかるだろう



2018.6.14. 六甲最高峰からの視界の開けぬ狭い谷筋 急な下りが続く住吉道  
長い谷筋をやっとぬけて、ほっと一息 やっぱり長いなあ これだけは かつての記憶通り  
あとはぶらぶらと 白鶴美術館前の坂道を阪急御影駅へ下る 16:30

梅雨の晴れ間 急に思い立ってかつてよく通った東六甲へ 六甲山上へは何度も上がるのですが、ここ10数年歩いたことがない東六甲。 興味深々で歩きました。

毎年この時期訪れる六甲高山植物園 ことしも多くの花に出会えて満足。  
そして、久しぶりに歩いた六甲山上walk・六甲最高峰 そしてそこから下った住吉川沿いの住吉道。興味深々 六甲からの大展望を楽しみながらのうれしい緑の森のハイキング。こんなによく整備され、静かでゆっくり 緑の中を歩けるのか……とびっくり。

須磨の西六甲からは見られない東六甲。  
六甲最高峰からは 眺めたかった阪神間の市街地から大阪湾までの大展望。  
そして故郷尼崎の街もくっきりと。  
住吉川の古道 住吉道 楽しみにしていた五助ダム周辺・そして住吉道  
かつては荒れ果ててはげ山だった山中が本当に心地よい緑のハイキング道に。  
でも最初 御影から住吉道のぼろうか・・・と思いましたが、  
あの長い六甲山頂までの谷筋道。ちょっと恐れをなして下ることに。正解でした。  
やっぱり住吉道のアプローチの長さは記憶通りやっぱり長い。  
でも もうわかったのでどこかで挑戦。

次は もう一つ気にかかっていた東六甲の道 東おたふく山・奥池ハイクをやろう  
東六甲の様子もだいぶわかったので 楽しめそう

見どころ満載の一日を思い浮かべながら ぶらぶら  
住吉川沿いの道 阪急御影駅までの急坂を下りました。

2018.6.14.夕 心地よい疲れの中て Mutsu Nakanishi

2018.6.14. 白鶴美術館前の坂道を阪急御影駅へ下る 16:30



緑に埋まった住吉谷中心部      2018.6.14.      14:52

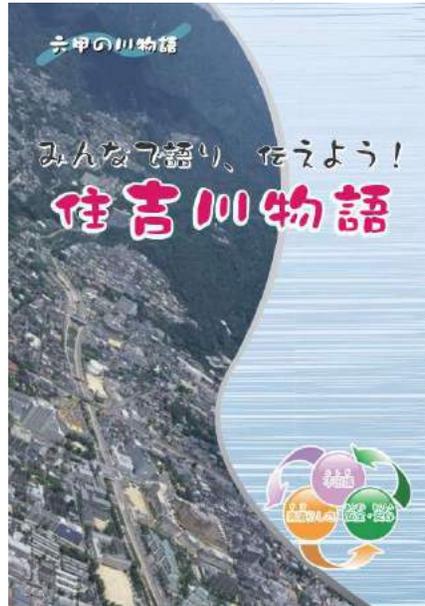
雨ヶ峠分岐周辺からは 今下ってきた住吉谷の中央にどっかと座った本庄堰堤がみえ、  
後ろに六甲稜線の山並みが見えている



2017.6.14. 住吉谷 五助ダム堰堤

もう数十年前訪れた記憶とは比べようもない変貌 ただただ すごいなあ……と

<https://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/rokko/study/sumiyoshi/sum-b.pdf>



3-2. 私たちの暮らしを守る砂防

大雨や地震などが引き金となって、山やけが崩れたり、水と一緒に土や石が川から流れ出たりして、私たちにおそいかかってくるのが土砂災害です。この土砂災害から、人の命と財産を守るのが「砂防」の仕事です。

砂防とは、砂防えん版を造って下流に流れ出る土砂を調節したり、崩れた山に木を植えたり、けがけが崩れないように山の斜面に対策を行ったりして、災害が起こらないようにすることです。また、火山災害やなだれ災害、地すべりを防ぐことも砂防の仕事です。

日本の砂防技術は世界でも最高のレベルにあり、砂防＝「SABO」は、世界の共通語になっています。日本は東南アジアや中南米などの国々で行われる砂防事業にも技術協力しており、日本の砂防技術は世界で役立っています。

住吉三入ダム

3-1-2. 土砂災害が起こりやすい住吉川、六甲山地

私たちの街は、かつて、土砂に埋まったんだよ!

— 阪神大水害（昭和13年：1938年） —

阪神大水害の住吉川での様子を見てみましょう。この辺りは、当時は住吉村となっており、その村の記録によると次のようです。

当日の7月5日午前8時ごろ、雨は再び強くなり、川は土砂を含んで黄色く濁りだし、まるで怒りを表しているようでした。そこへ9時40分ごろ、「ゴォー」というものすごい地ひびきとともに、大きな土石流が一度に押し寄せてきたのでした。

この時の人々の叫び声は、まさに天にも届くものだったのでしょうか。塀は破られ、電柱は倒れ、家はこわれ、庭の木は引き抜かれ、そして大人の体の二倍以上の巨石が次から次へと人々におそいかかったのです。

住吉村の出所被害の様子

神戸市東灘区の地名、住吉から始まるその一首には、深い絶望感が漂っている。〈住よしといふも名のみか荒れ果てゝ家もあとなき河原とそなる〉◆1938（昭和13）年の阪神大水害から1年後に編まれた歌集「水禍一周年」に収められている。7月3日から5日まで、神戸・阪神間に降り注いだ未曾有の大雨は川をあふれさせ、街は濁流と土砂にのまれた◆死者、行方不明者は約700人に及ぶ。〈掘り出すなきから見れば母子か手をとりあへるに泣かぬ人なし〉。または〈あはれさの限りにもあるか父母の行方たつねて泣叫ぶ子の〉。まさに、地獄であつたらう◆地元の自治体や国などをつくる「阪神大水害80年行事実行委員会」が体験談のほか、写真などの史料を募っている。と、本紙に載っていた。あのととき小学生だった人たちはいま、80代の後半から90代になっている◆〈あはれ我袖さへいまたかわかぬにはや一年はめぐり来にけり〉。1年どころか、80年をへても乾かぬ涙がある。めぐりくる水災忌のたびに、いとしい面影をまぶたに浮かべ、袖をぬらしている方もおられよう◆大水害には限らない。恐らくはこの国土のどこにだって、大雨によるつらく悲しい記憶は残る。伝えていきたい。未来に同じ涙が流れぬように。

2018.7.3

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

### 3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る



裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越 有馬道  
六甲最高峰より古道「住吉道」から住吉谷を下る

《 終わり 》

山頂標識の北側から六甲最高峰の頂上部を眺める 2018.6.14.

六甲高山植物園より六甲最高峰を経て 久しぶりに住吉谷を下る 2018. 6. 14.

1. ニッコウキスゲの咲く 六甲高山植物園
2. 六甲山上を東へ歩いて 六甲山最高峰へ
3. 裏六甲有馬と表六甲を結ぶ六甲越の古道「住吉道」から住吉谷を下る





私の一番好きな六甲 武庫川から眺める東六甲の姿  
小さな時から、私の慣れ親しんだ景色でもある



R171号線 武庫川 甲武橋から眺める六甲連山 google earthより

梅雨の晴れ間 入道雲がもくもくと 梅雨明け近し  
無理せず 元気に

2018.7.2. by Mutsu Nakanishi

2018.7.2. 須磨アルプス 東山から眺める神戸の街